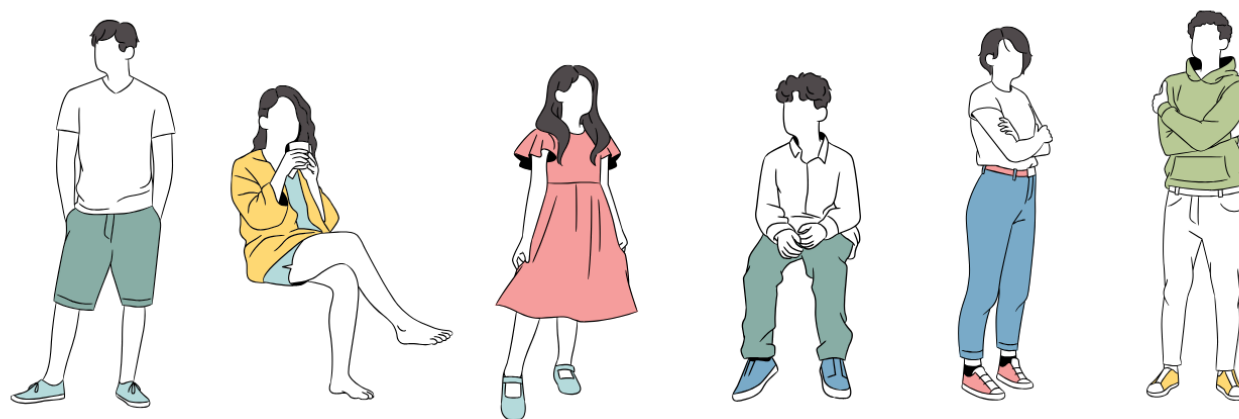

しあわせ調査

=== 集計のまとめ ===



令和7年3月28日

政策企画課

= 目次 =

1 調査概要

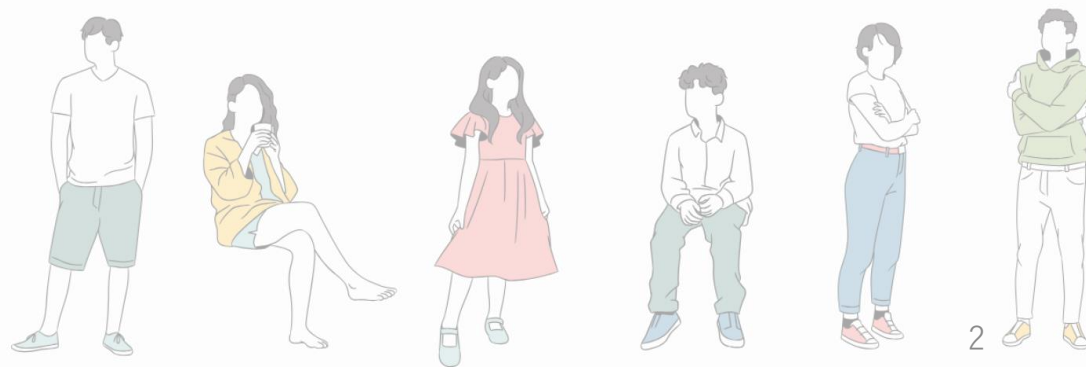
- (1) 基本情報
- (2) 性別・年代別 回答数
- (3) 地区別・性別 回答数
- (4) 性別・広報媒体別 回答数
- (5) 年代別・広報媒体別 回答数
- (6) 年代別・ワークショップ参加意向 回答数

添付資料

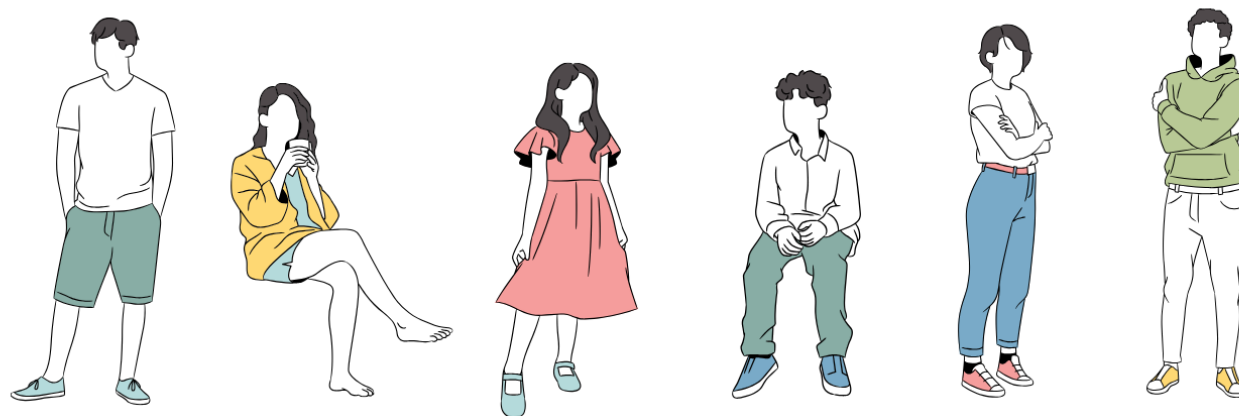
- 参考資料1 しあわせ調査 集計結果
参考資料2 実数点・偏差値一覧表
参考資料3 Well-Being指標 主観指標カタログ
参考資料4 Well-Being指標 客観指標カタログ

2 集計結果

- (1) 幸福度、生活満足度
- (2) 幸福度、満足度の傾向
- (3) 因子別の主観・客観データ(偏差値)
- (4) 主観データ(点数と偏差値)
- (5) 客観データ(点数と偏差値)
- (6) 調査結果の活用について



1 調査概要



(1) 基本情報

項目	数
調査期間	令和6年12月27日～令和7年1月26日まで

項目	数		備考
回答数	4,467		
	有効	4,460	
	無効	7	市外在住者
現住人口	317,108		現住人口 令和7年1月1日現在
回答率	1.406%		有効回答数/現住人口

(参考) (1) 基本情報 無効回答一覧

所在地	数	備考
茨城県北茨城市	1	※一般広報媒体経由であり本市居住を担保できない。
東京都江東区	1	
東京都立川市	1	
新潟県佐渡市	1	
不明	1	
埼玉県さいたま市	1	※PoliPoliGov経由であり本市居住を担保できない。
千葉県柏市	1	
計	7	

(参考) (1) 基本情報 参考(他市町村・回答数順)

基礎自治体名	人口 (千人)	回答数	回答率	備考
福島県いわき市	317	4,460	1.407%	2024年度調査
静岡県焼津市	135	3,780	2.800%	2023年度調査
北海道札幌市	1,968	3,572	0.182%	2023年度調査
広島県東広島市	190	3,504	1.844%	2024年度調査
静岡県静岡市	675	2,618	0.388%	2023年度調査

・
・
・

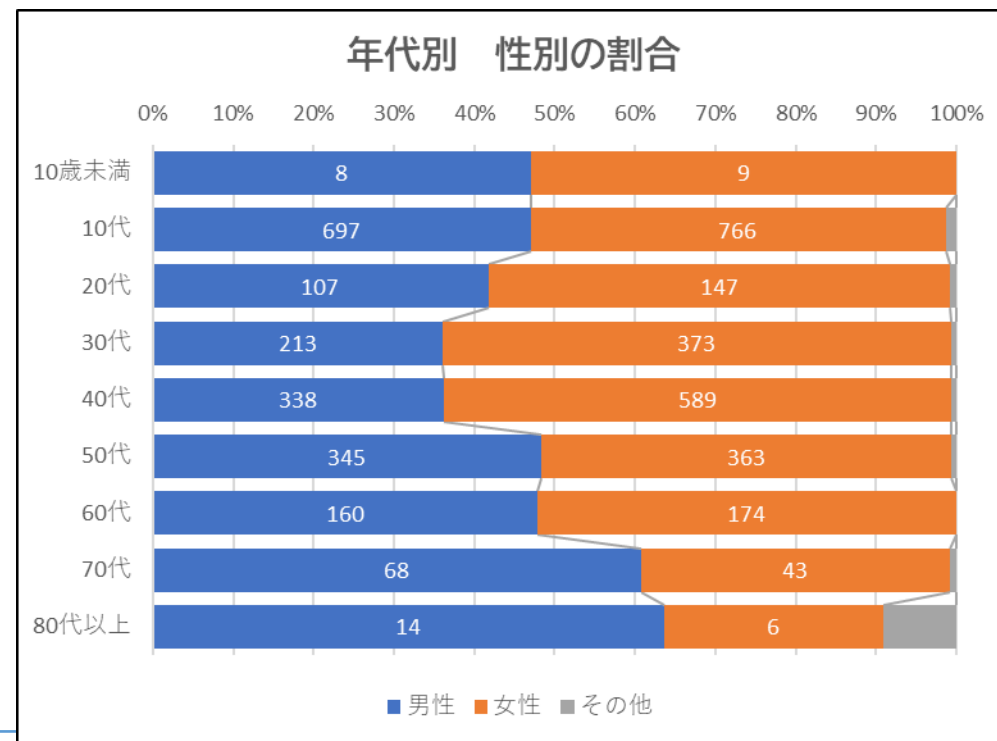
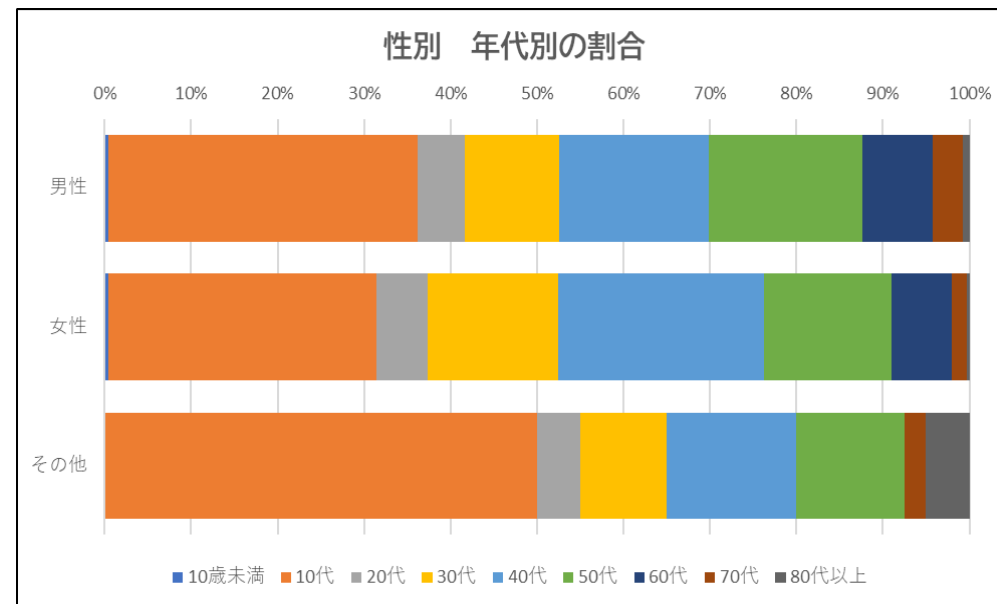
以下127自治体、計132市町村で2022年度～2024年度に実施

(参考) (1) 基本情報 参考(県内他市町村)

基礎自治体名	人口 (千人)	回答数	回答率	備考
いわき市	317	4,460	1.407%	2024年度調査
会津若松市	111	433	0.390%	2023年度調査
郡山市	320	63	0.020%	2024年度調査
田村市	33	308	0.933%	2024年度調査
西会津町	5	479	9.580%	2024年度調査
矢吹町	17	171	1.006%	2023年度調査
平田村	5	39	0.780%	2023年度調査
三春町	16	587	3.669%	2024年度調査

(2) 性別・年代別 回答数

項目	男性	女性	その他	計	割合
10歳未満	8	9	0	17	0.4%
10代	697	766	20	1,483	33.3%
20代	107	147	2	256	5.7%
30代	213	373	4	590	13.2%
40代	338	589	6	933	20.9%
50代	345	363	5	713	16.0%
60代	160	174	0	334	7.5%
70代	68	43	1	112	2.5%
80代以上	14	6	2	22	0.5%
年齢不詳	0	0	0	0	0.0%
計	1,950	2,470	40	4,460	100.0%
割合	43.7%	55.4%	0.9%	100.0%	



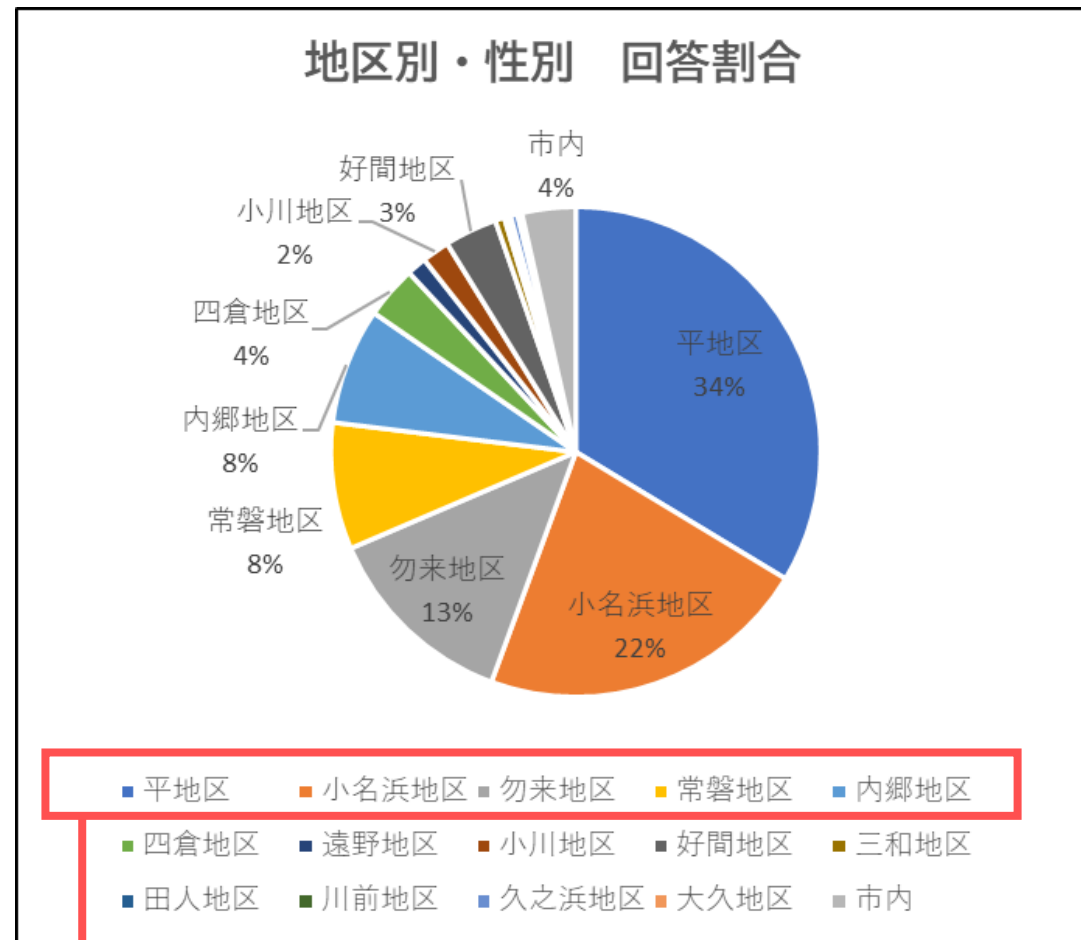
(3) 地区別・性別 回答数

項目	男性	女性	その他	計	割合
平地区	616	864	21	1501	33.7%
小名浜地区	462	510	7	979	22.0%
勿来地区	259	317	2	578	13.0%
常磐地区	157	211	5	373	8.4%
内郷地区	142	199	1	342	7.7%
四倉地区	65	89	1	155	3.5%
遠野地区	27	31	0	58	1.3%
小川地区	36	45	0	81	1.8%
好間地区	67	88	0	155	3.5%
三和地区	14	13	0	27	0.6%
田人地区	4	9	0	13	0.3%
川前地区	3	3	0	6	0.1%
久之浜地区	11	10	0	21	0.5%
大久地区	6	7	0	13	0.3%
市内	81	74	3	158	3.5%
計	1,950	2,470	40	4,460	100.0%
割合	43.7%	55.4%	0.9%	100.0%	-

※地区別・年代別は回答数が極めて少なくなることから算出しない。

赤字

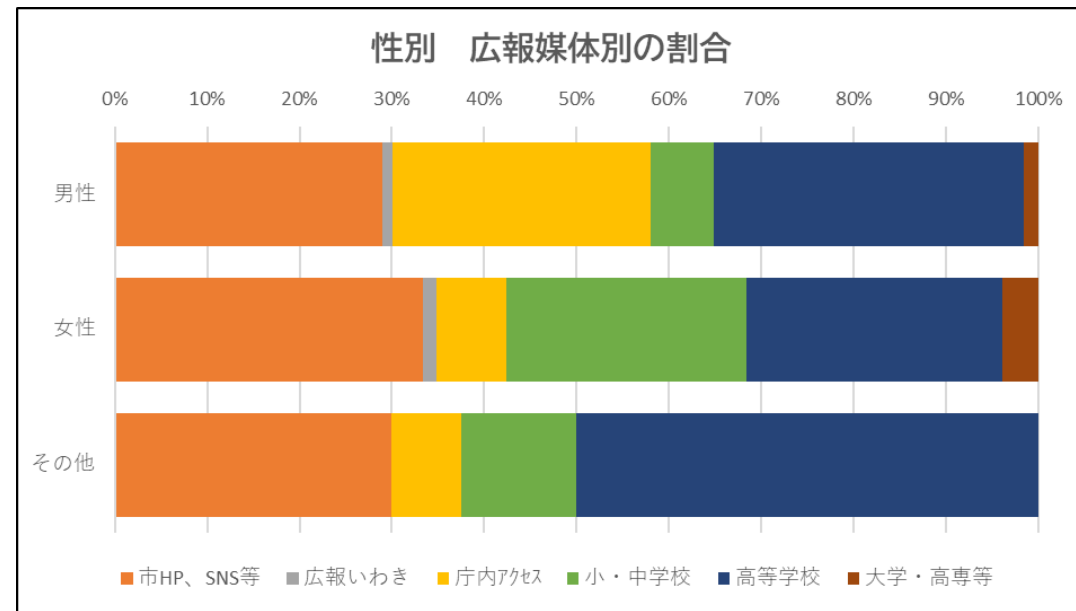
全体の8割超を構成する主たる地区



全体の8割超を構成

(4) 性別・広報媒体別 回答数

項目	詳細	男性	女性	その他	計	割合
	一般広報	1,132	1,047	15	2,194	49.2%
	市HP、SNS等	565	825	12	1,402	31.4%
	広報いわき	22	35	0	57	1.3%
	庁内アクセス	545	187	3	735	16.5%
	学校経由	818	1,423	25	2,266	50.8%
	小・中学校	133	642	5	780	17.5%
	高等学校	655	687	20	1,362	30.5%
	大学・高専等	30	94	0	124	2.8%
計		1,950	2,470	40	4,460	100.0%
割合		43.7%	55.4%	0.9%	100.0%	-



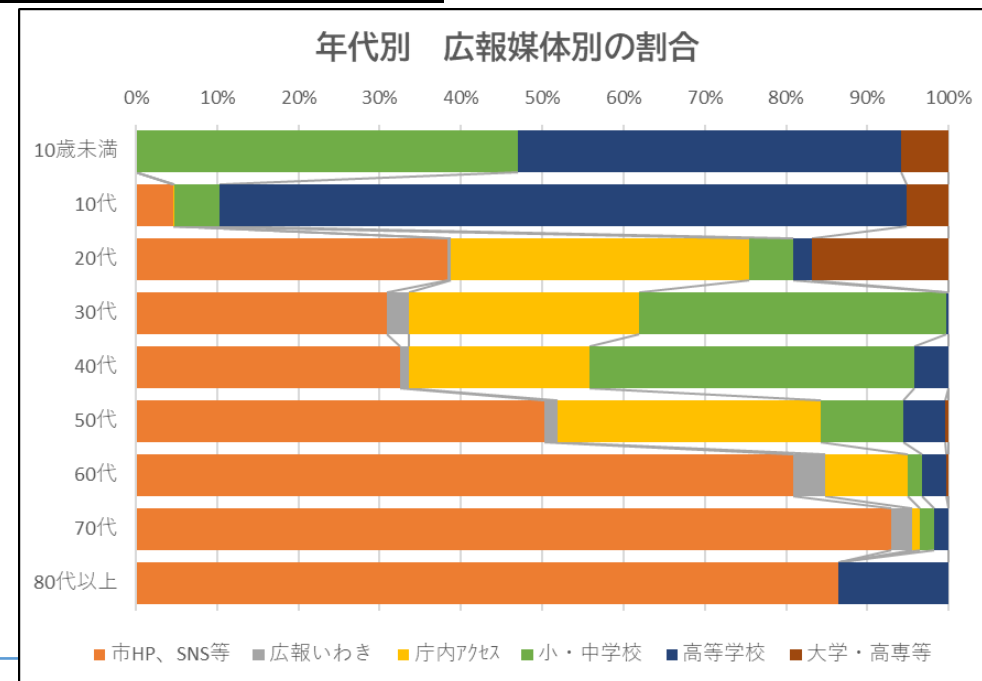
- ・市LINE、SNS等からの回答割合に、性の別はあまり見られなかった。
- ・広報いわきからの回答割合が最も低かった。
- ・男性市職員からの回答が男性の回答の1/4を占めた。
- ・女性は小・中学校へ配布したチラシからの回答も多かった。
- ・高等学校へ配布したチラシからの回答が全体の3割を占めた。

(5) 年代別・広報媒体別 回答数

項目	詳細	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	割合
	一般広報	0	70	193	365	521	601	317	108	19	2,194	49.2%
	市HP、SNS等	0	68	98	182	303	358	270	104	19	1,402	31.4%
	広報いわき	0	1	1	16	11	12	13	3	0	57	1.3%
	庁内アクセス	0	1	94	167	207	231	34	1	0	735	16.5%
	学校経由	17	1,413	63	225	412	112	17	4	3	2,266	50.8%
	小・中学校	8	83	14	223	372	72	6	2	0	780	17.5%
	高等学校	8	1,254	6	2	40	37	10	2	3	1,362	30.5%
	大学・高専等	1	76	43	0	0	3	1	0	0	124	2.8%
計		17	1,483	256	590	933	713	334	112	22	4,460	100.0%
割合		0.4%	33.3%	5.7%	13.2%	20.9%	16.0%	7.5%	2.5%	0.5%	100.0%	-

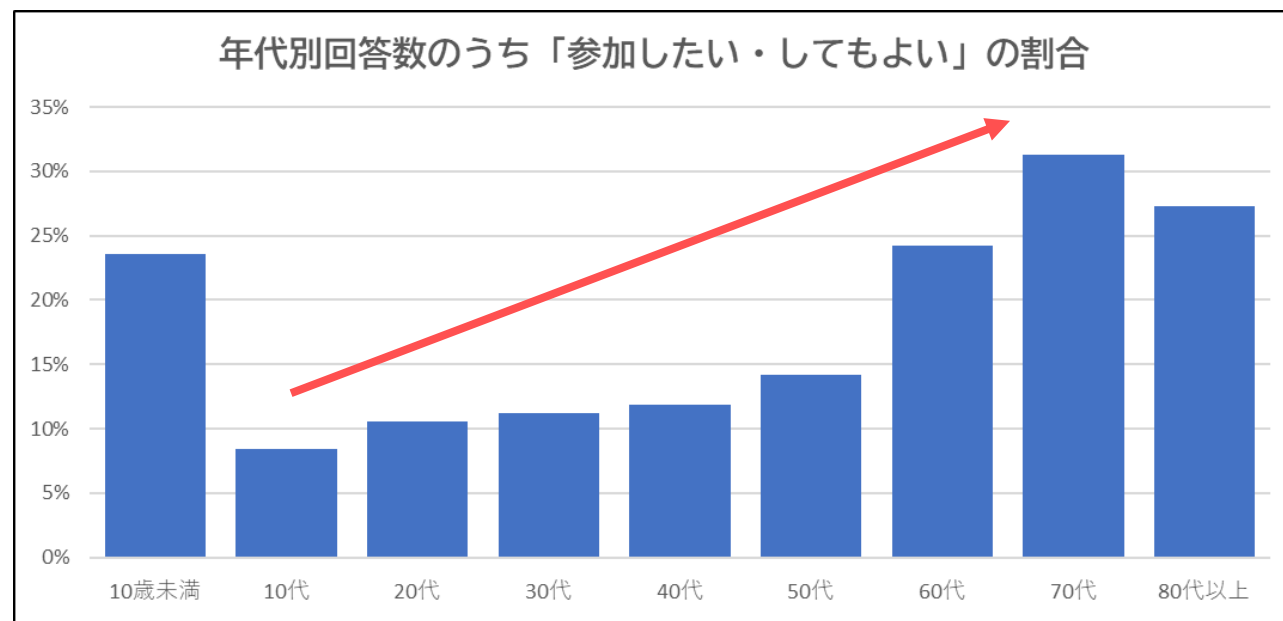
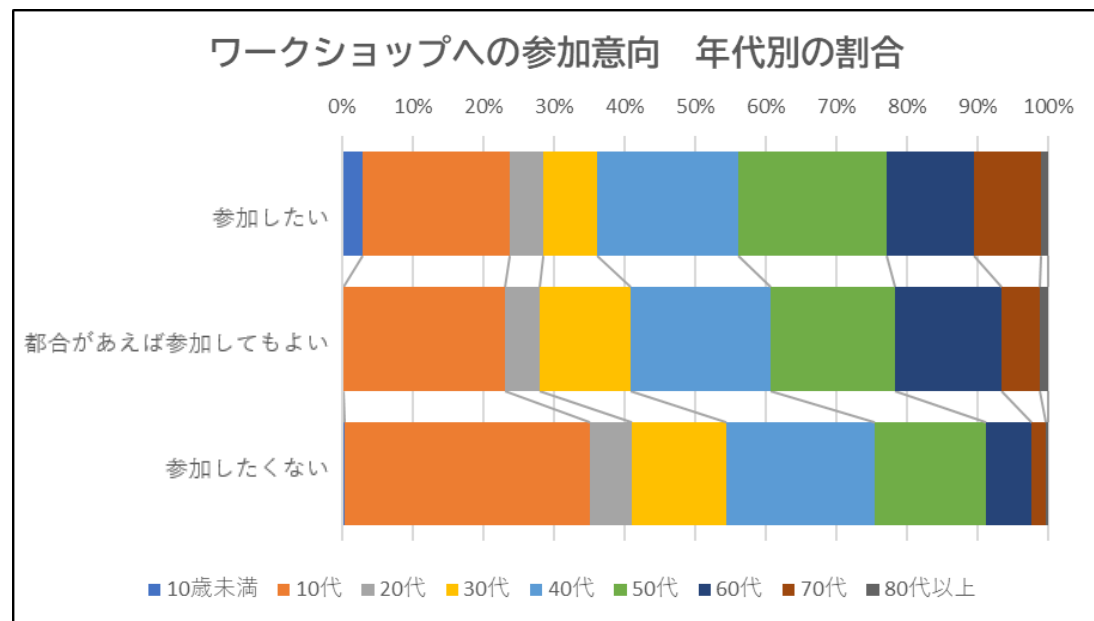
赤 媒体別の回答割合が8割超となる主たるボリュームゾーン

- ・10代は9割が高校配布チラシからの回答だった。
- ・市LINE、SNSからの回答割合は、年代があがるほど上昇傾向。
- ・30代、40代は小・中学校配布チラシからの回答が多かった。

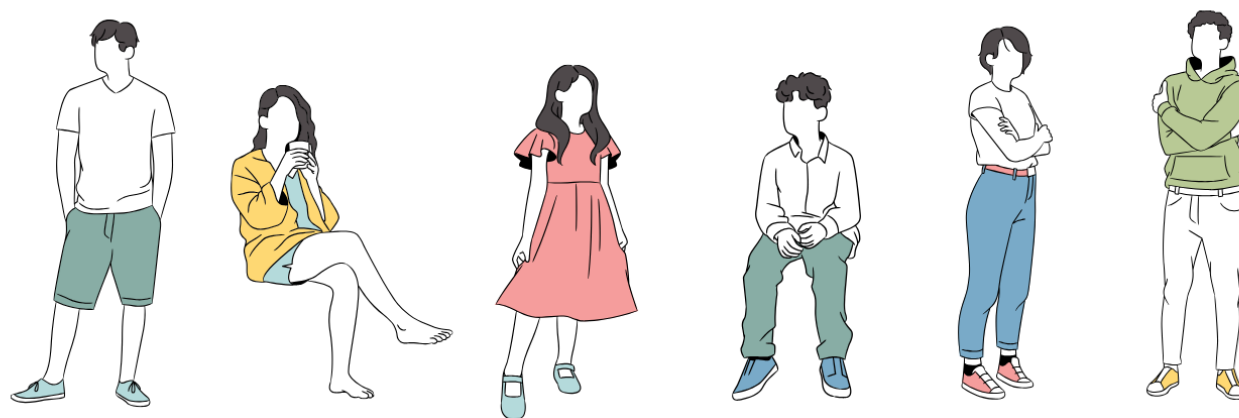


(6) 年代別・ワークショップ参加意向 回答数

項目	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	割合
参加したい・してもよい	4	125	27	66	111	101	81	35	6	556	12.5%
参加したい	3	22	5	8	21	22	13	10	1	105	2.4%
都合があれば参加してもよい	1	103	22	58	90	79	68	25	5	451	10.1%
参加したくない	13	1358	229	524	822	612	253	77	16	3,904	87.5%
計	17	1,483	256	590	933	713	334	112	22	4,460	100.0%
割合	0.4%	33.3%	5.7%	13.2%	20.9%	16.0%	7.5%	2.5%	0.5%	100.0%	-
回答数のうち「参加したい・してもよい」の割合	23.5%	8.4%	10.5%	11.2%	11.9%	14.2%	24.3%	31.3%	27.3%	-	-



2 集計結果

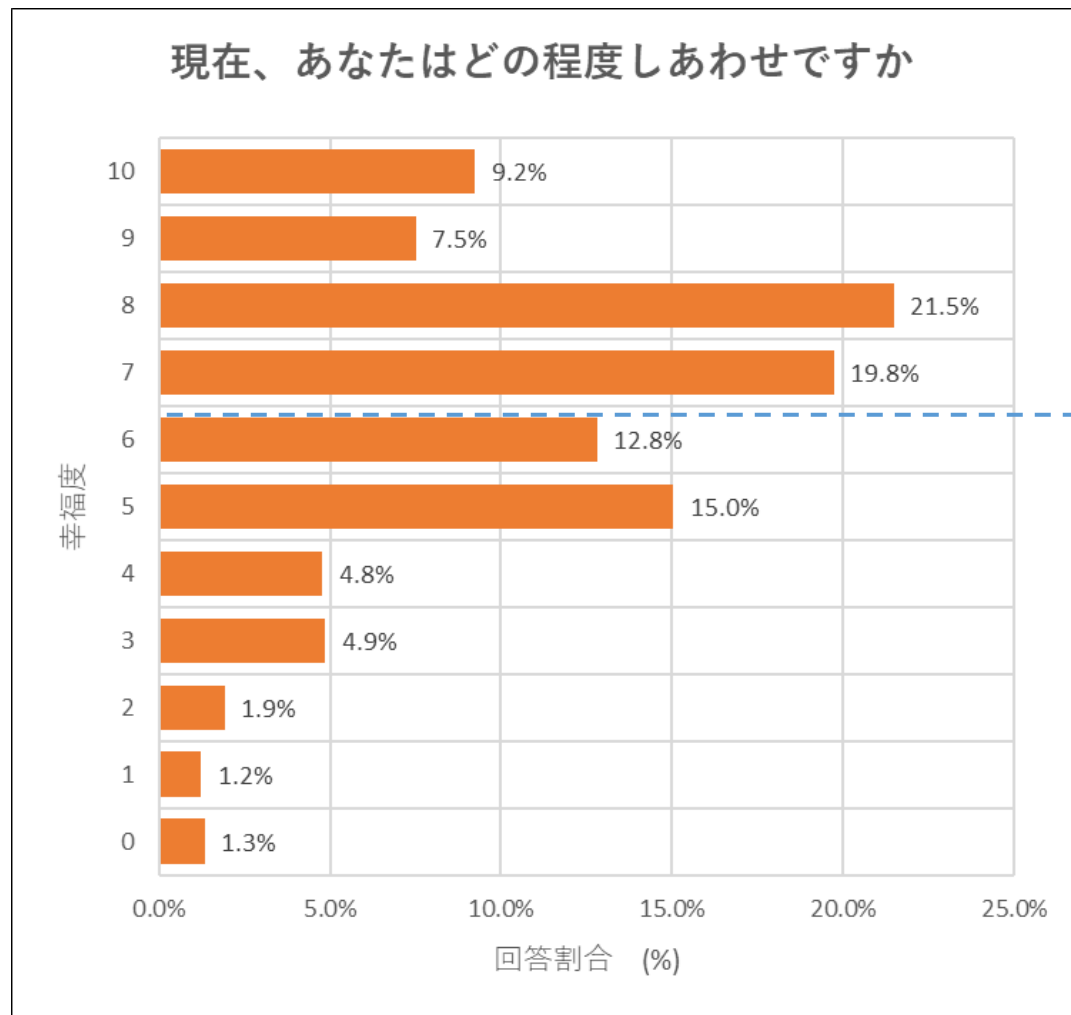


(参考) 「2 集計結果」の留意点

- ・本資料に記載する集計結果は、抜粋となります。
- ・全設問について、全体値のほか、性別、年代別、地区別でクロス集計した資料を別添しております。詳細は「参考資料1 しあわせ調査 集計結果」をご確認ください。
- ・幸福度、満足度、主観を測る設問の平均点はすべて、加重平均で算出しています。
- ・幸福度・生活満足度は「0」～「10」の11段階評価で「5」が中央値です。
- ・主観を測る設問は5段階評価で「3」が中央値です。
- ・回答数が50人未満の属性は参考値とします。具体的には、以下の属性が参考値です。
 - 【性別】 その他 【年代別】 10歳未満、80代以上
 - 【地区別】 三和地区、田人地区、川前地区、久之浜地区、大久地区（地区別集計は添付資料参照）
- ・回答は10代が最も多く、10代は点数が高い傾向にあることから、概ね0.1～0.2点の範囲で、10代の回答が実数点を押し上げています。
- ・デジタル庁のダッシュボード上の結果には、「10歳未満」の回答結果は反映されません。

(1) 幸福度、生活満足度

① 現在、あなたはどの程度幸せですか。

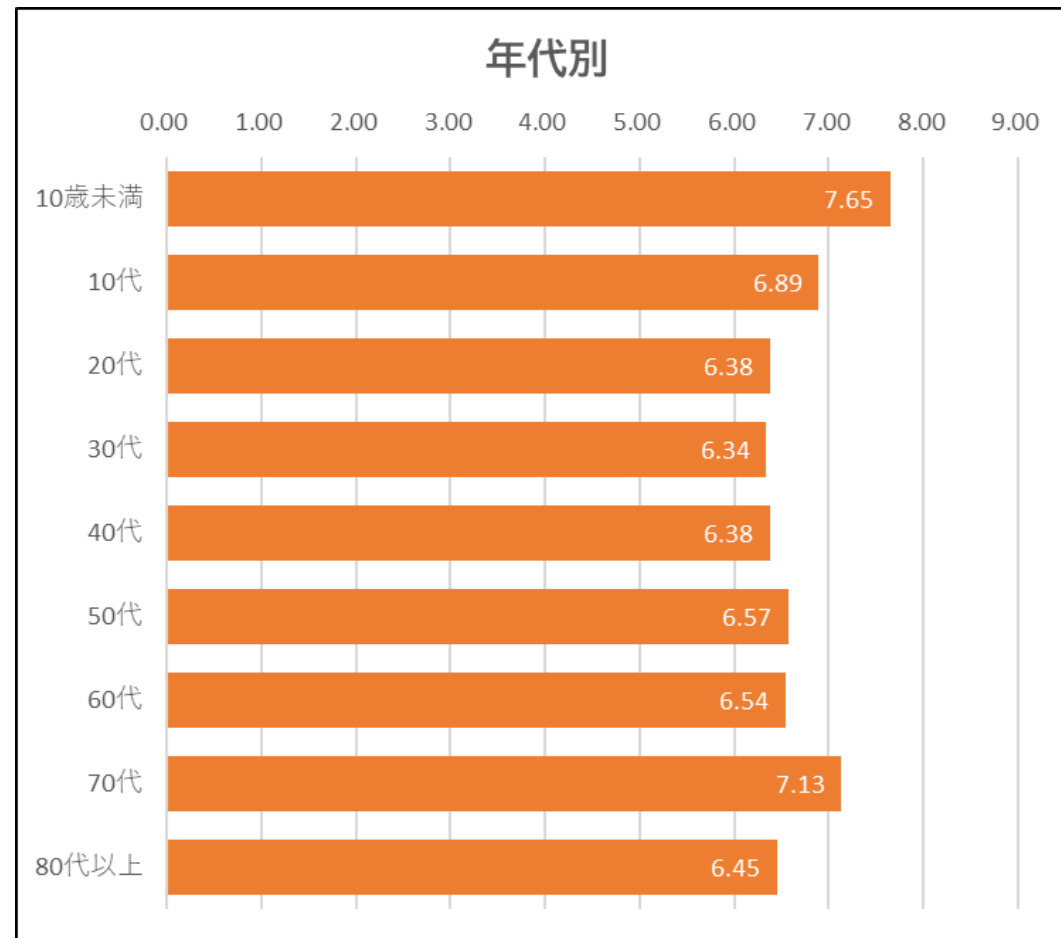
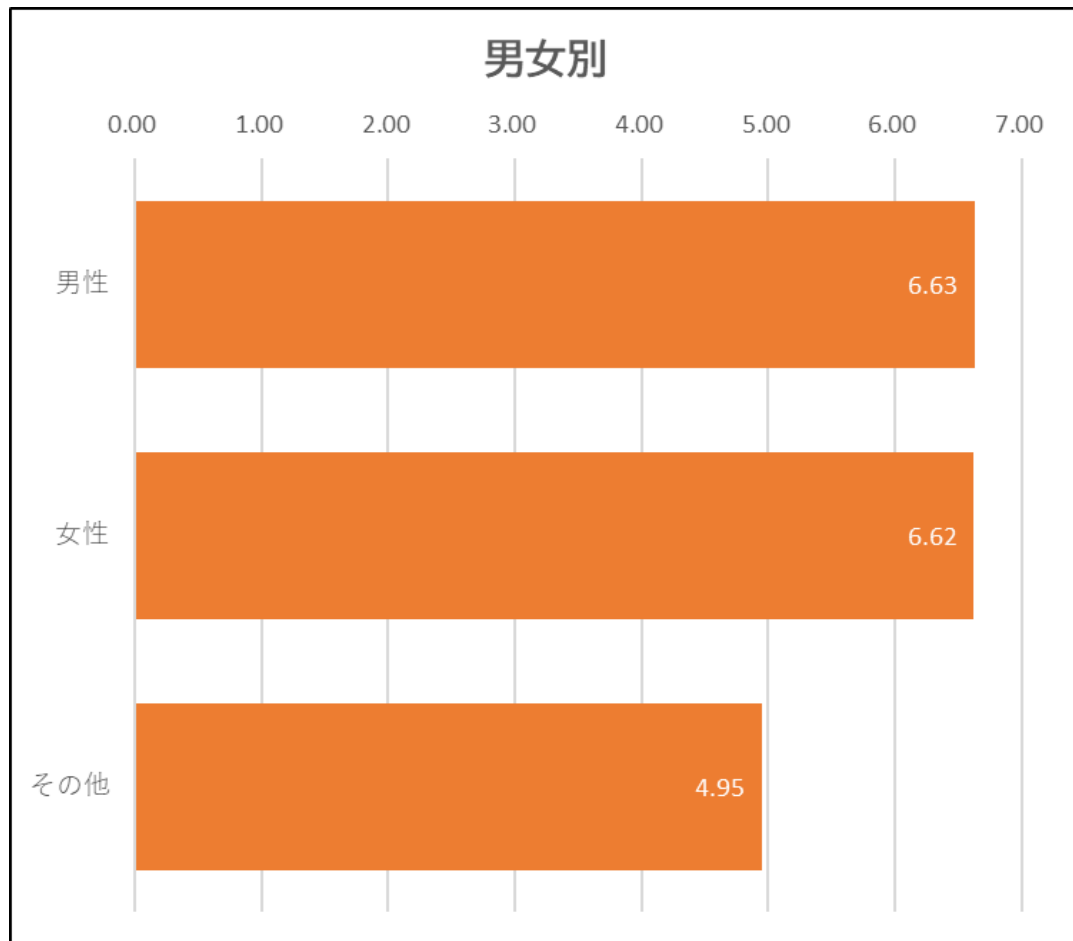


平均点

6.61 点

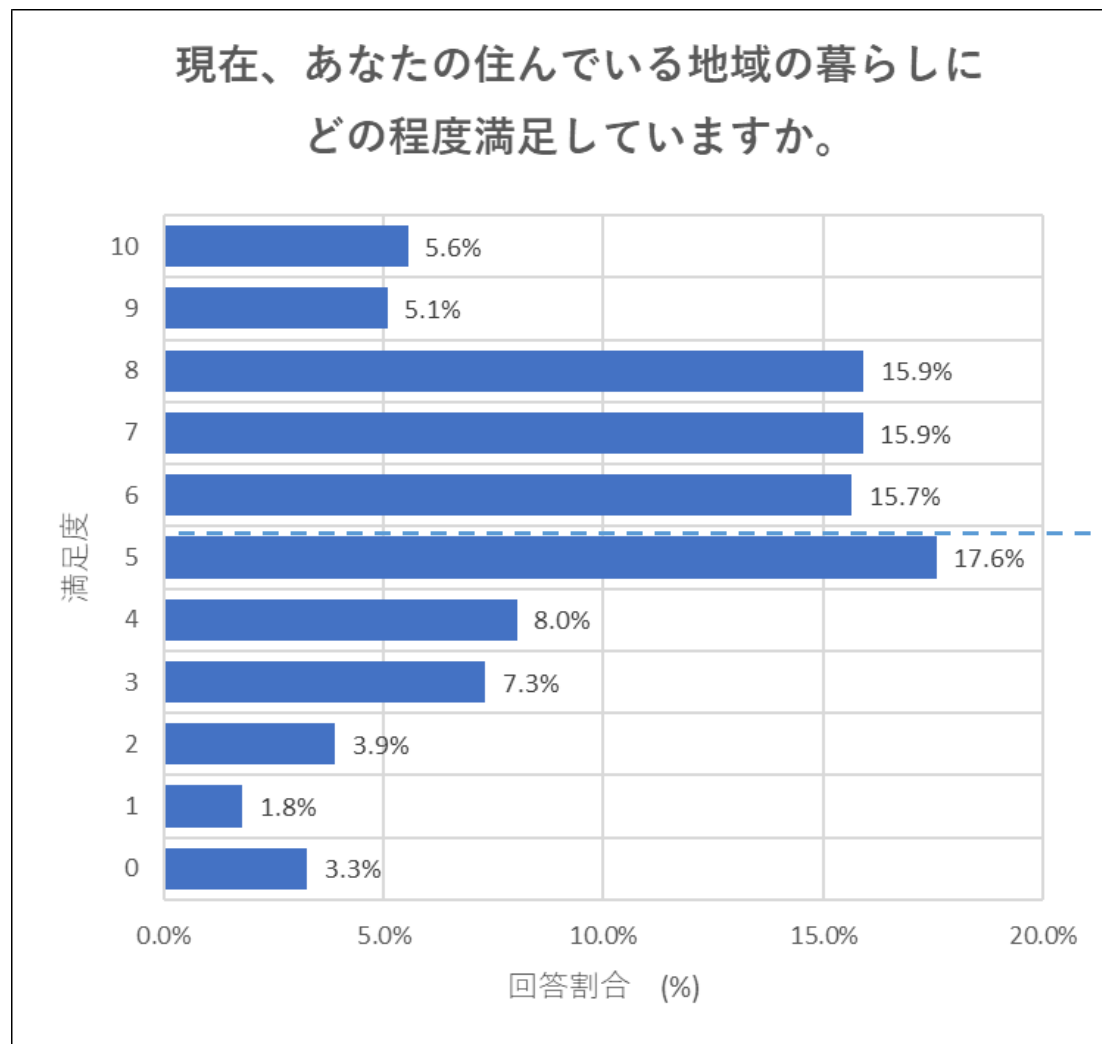
(1) 幸福度、生活満足度

① 現在、あなたはどの程度幸せですか。



(1) 幸福度、生活満足度

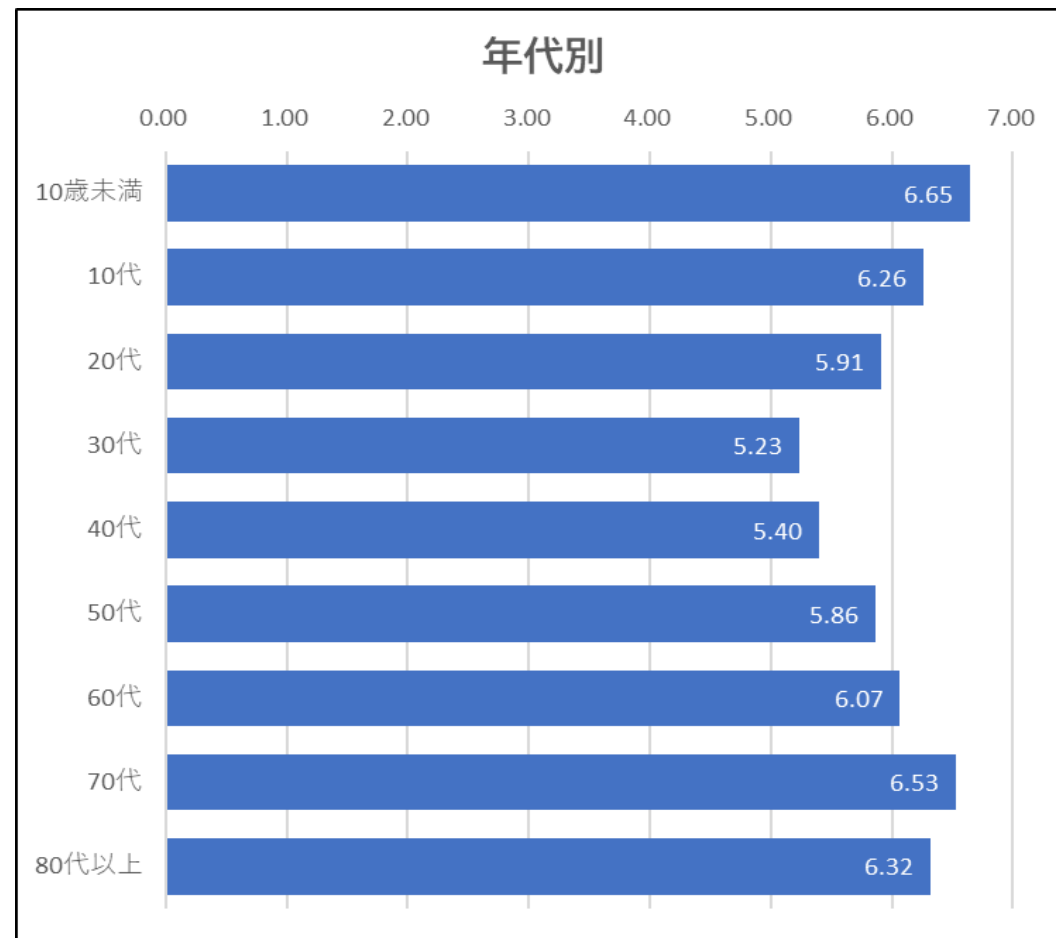
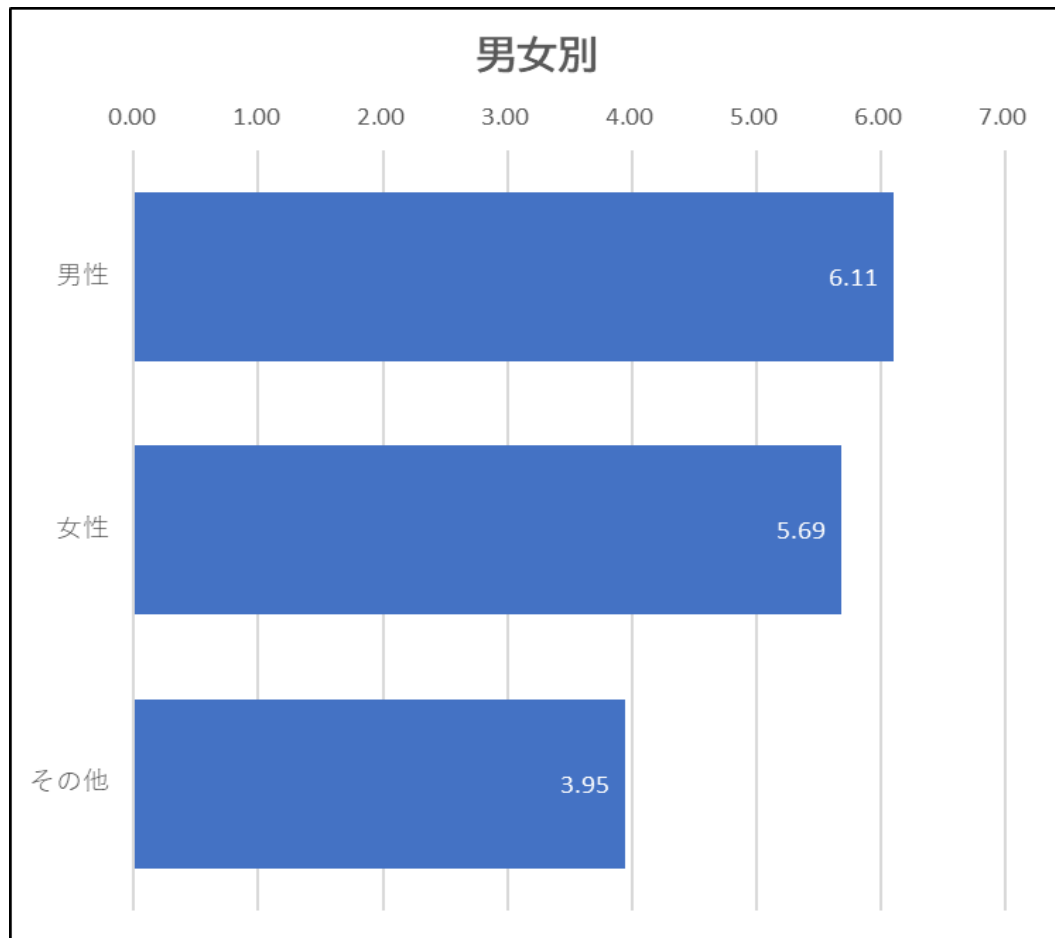
② 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。



5.85 点

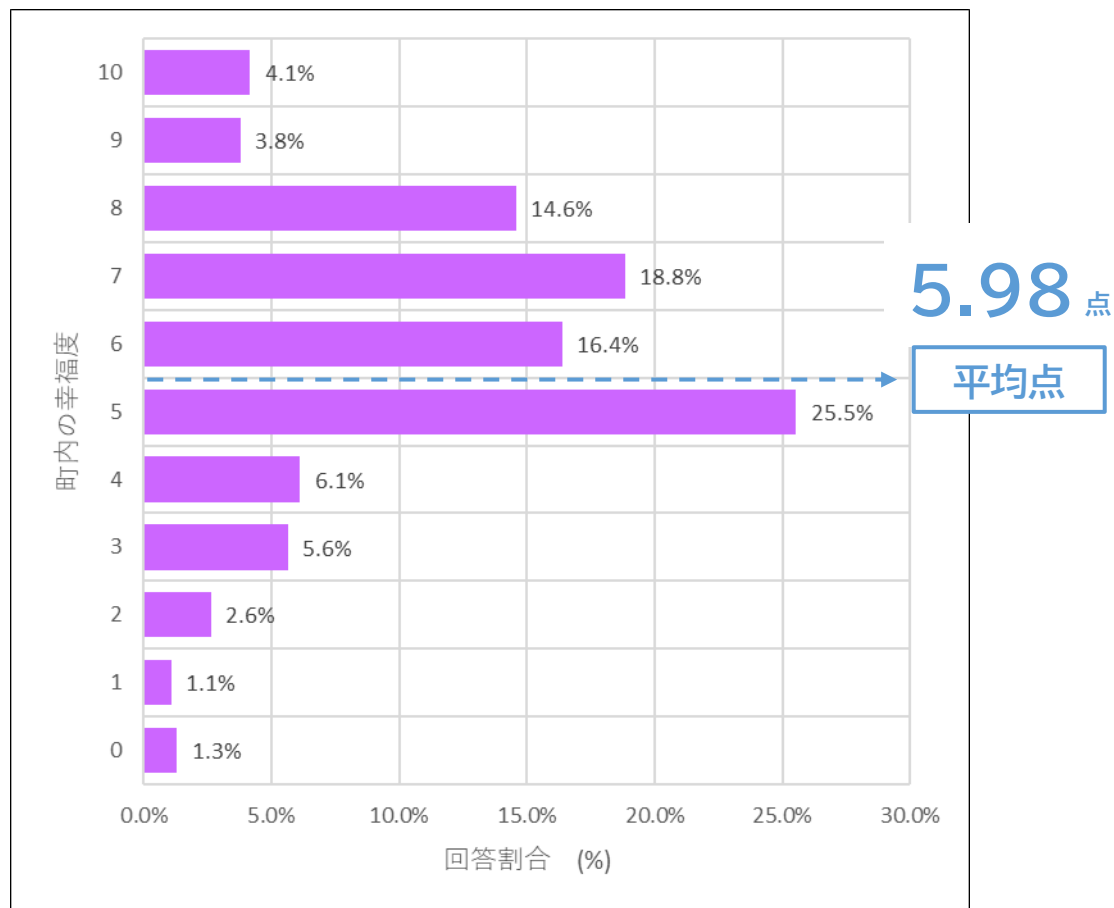
(1) 幸福度、生活満足度

② 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

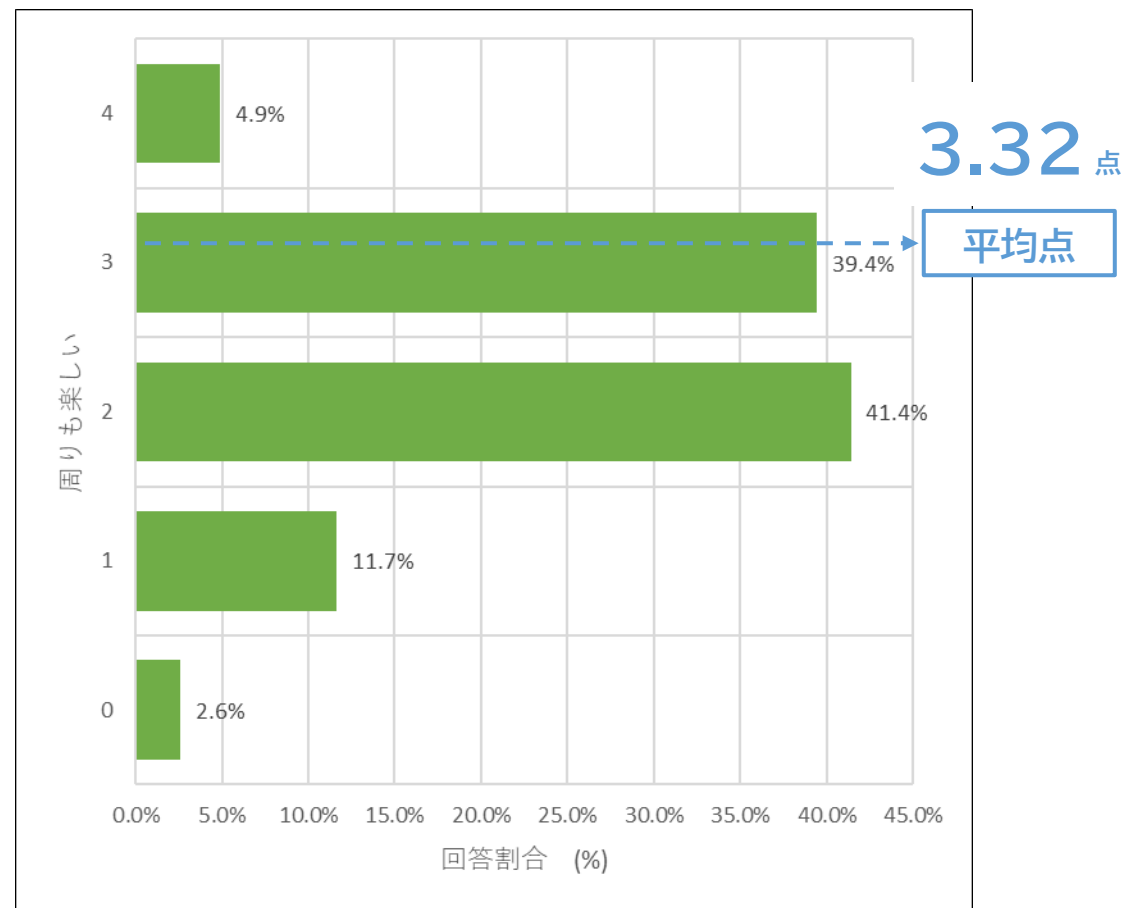


(1) 幸福度、生活満足度

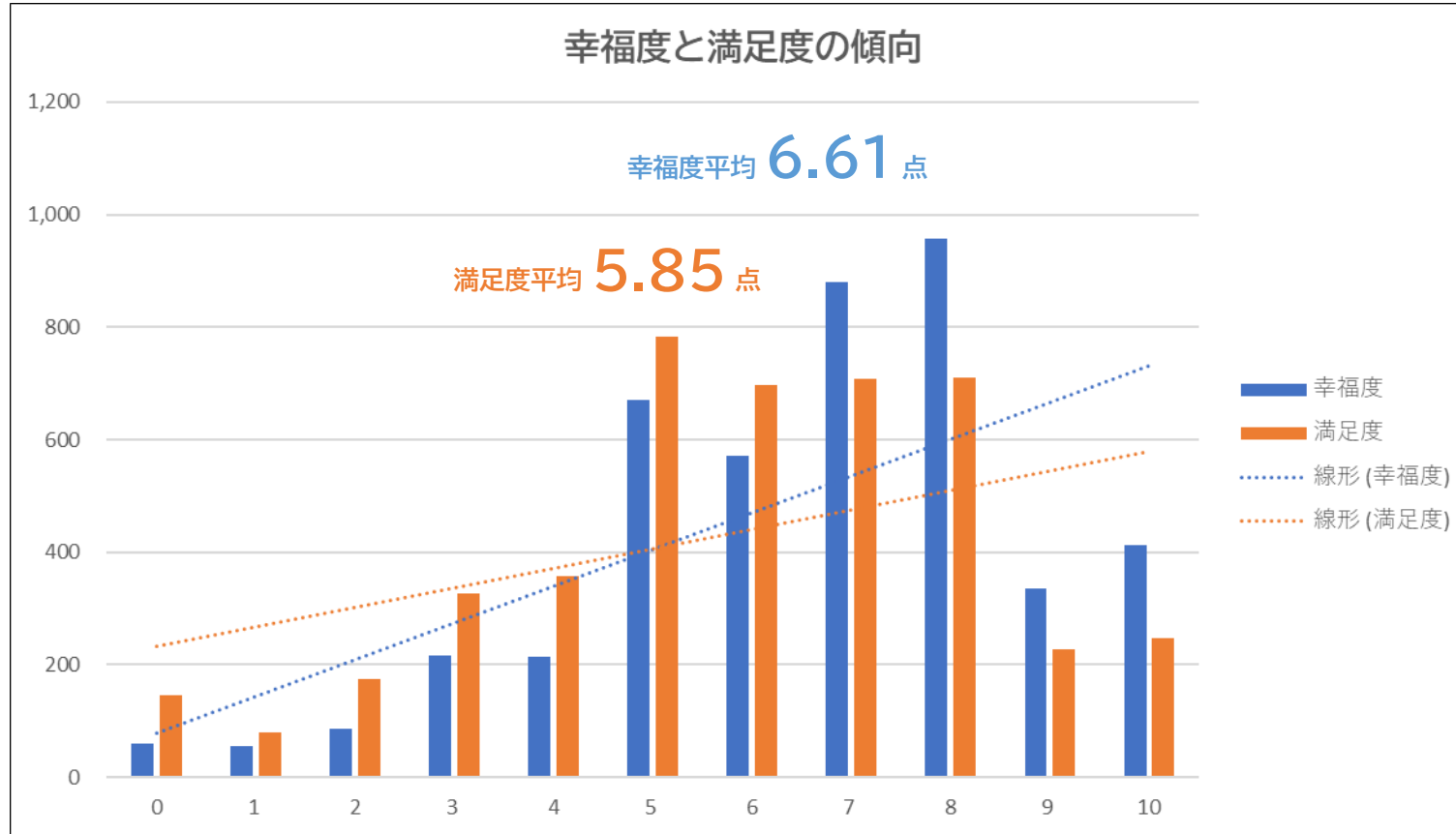
③ あなたの町内(集落)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。



④ 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。



(2) 幸福度、満足度の傾向(全体)



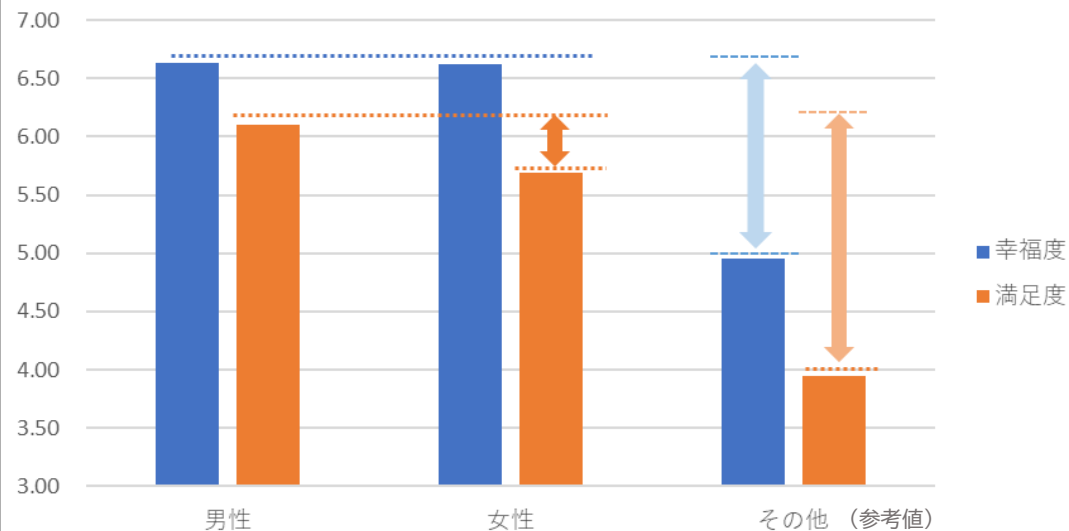
POINT

- ・いわき市民は概ね幸福。
- ・「幸福度」と「満足度」は比例する。
- ・7点以上の「満足度」で幸福を感じる者が増える。
- ・「満足度」の近似線は「幸福度」よりも緩やかであり、「満足度」にはばらつきがある。

- ・「幸福度」の方が「満足度」よりも高い点数傾向である。
- ・「満足度」の方が0～6点と回答する者が多く、7～10点と回答する者は、「幸福度」の方が多くなる。
- ・「幸福度」は4点以下が少なく、5点以上に回答者数が多い。
- ・「幸福度」は7～8点の回答者数が多く、次いで5～6点、9～10点の順である。0～2点は少数である。
- ・「満足度」は5点～8点の回答者数がほぼ横ばい同数で最も多く、次いで3～4点、9～10点の順である。「幸福度」と比して0～2点も多い。

(2) 幸福度、満足度の傾向(性別、年代別)

幸福度と満足度の傾向(性別)



【性別】

- ・「幸福度」は、「男性」「女性」の別に大きな差はない。
- ・一方、「その他」の幸福度は「男性」「女性」と比較しても大幅な差で低い。
- ・「満足度」は、「男性」よりも「女性」の方が低い傾向にある。
- ・「幸福度」同様、「その他」の満足度は、「女性」と比較しても大幅な差で低い。

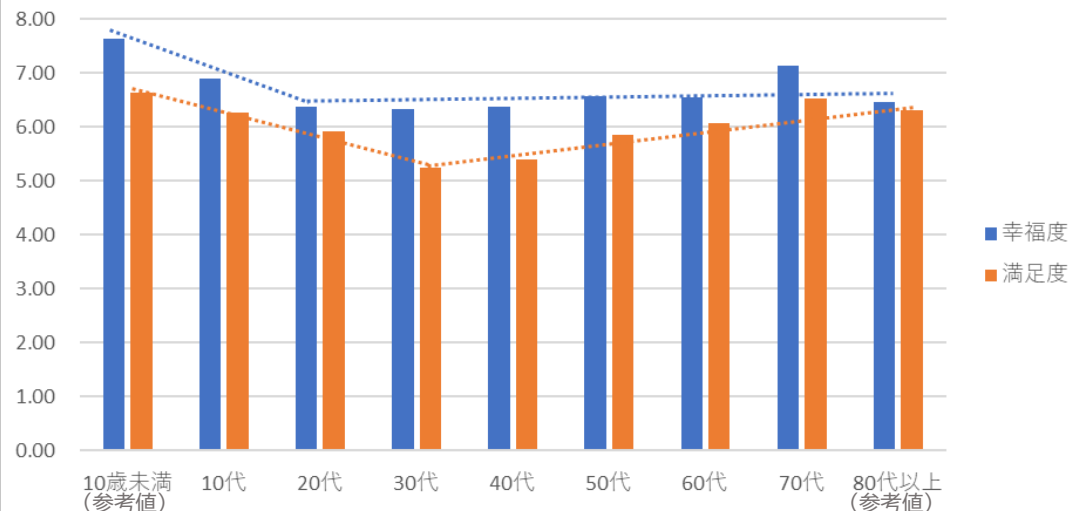
【年代別】

- ・「幸福度」は、10代以下で高く、20代～40代で若干点数が低いものの、20代以降の点数に大きな差はない。
- ・「満足度」は、30代、40代で点数が低い傾向にあり、これを底としてすり鉢状となっており、年代があがるほど点数が高くなる傾向にある。
- ・「幸福度」と「満足度」の点数差が大きいのは、30代、40代である。

POINT

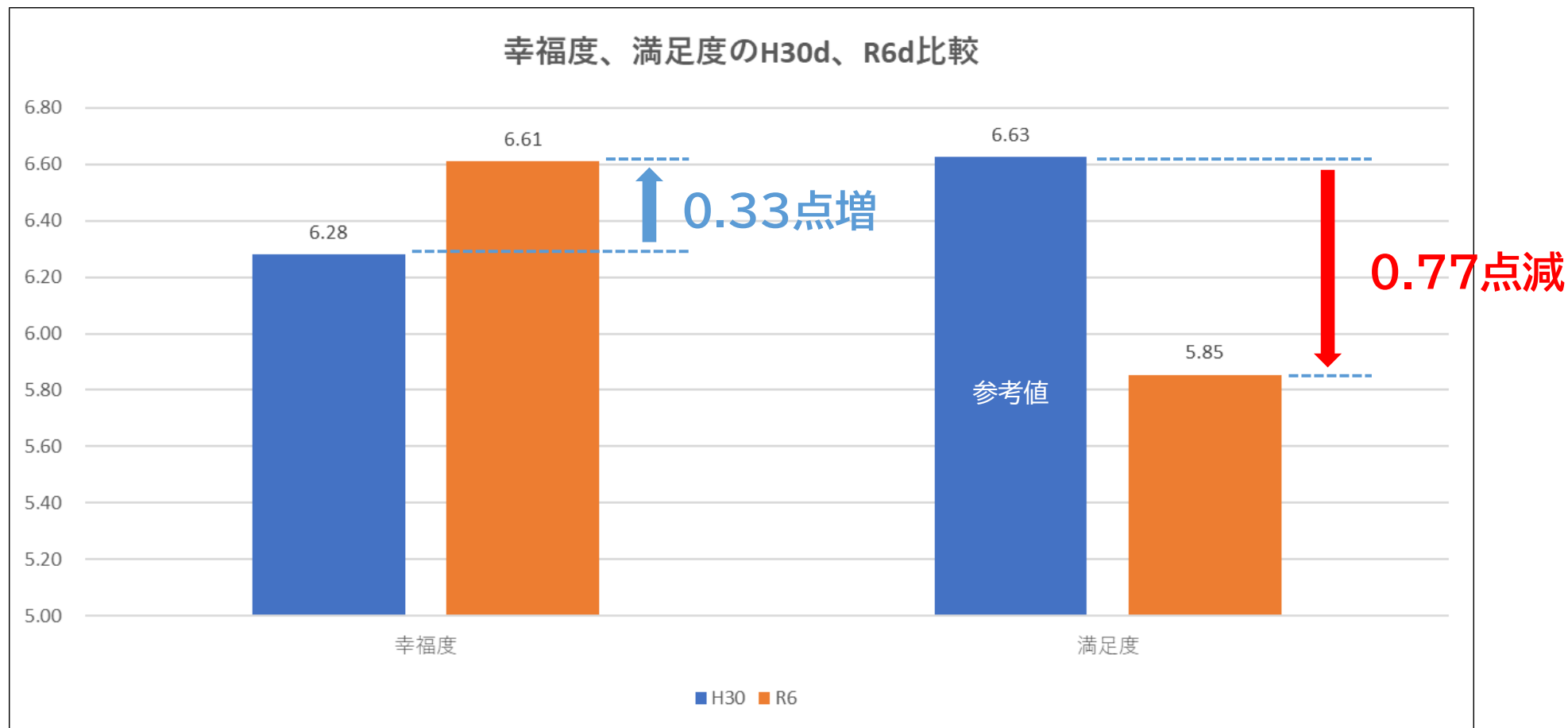
- ・男性と比べ、女性は「満足度」が低い。
- ・「幸福度」に比べ、「満足度」は年代差が大きい。
- ・30代と40代の「満足度」が低い。

幸福度と満足度の傾向(年代別)



(2) 幸福度、満足度の傾向(参考:比較)

(参考) 幸福度、満足度のH30年度調査とR6年度調査の比較

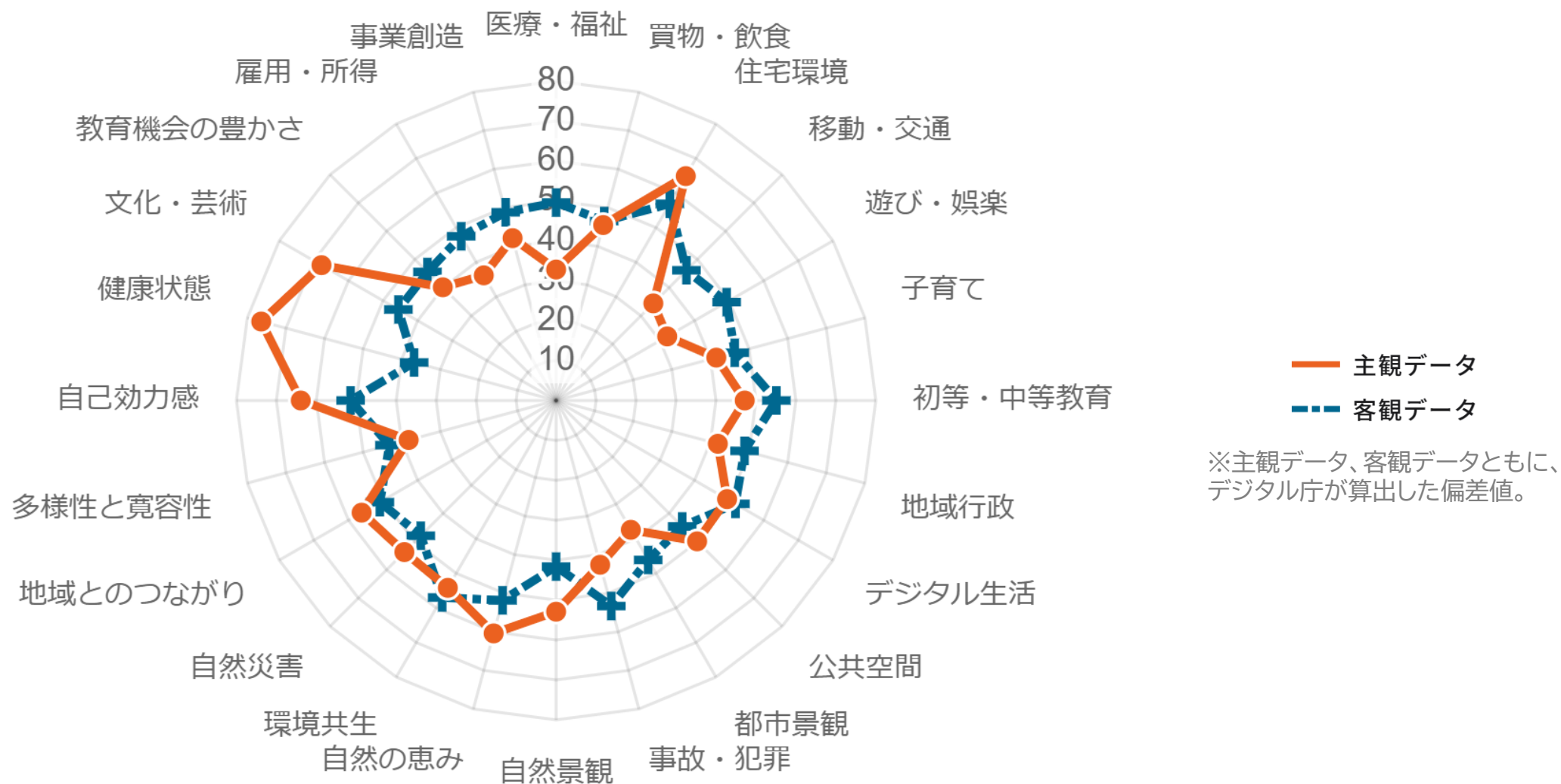


※H30年度調査は、総合計画改定に向けて調査したもの。独自設問。

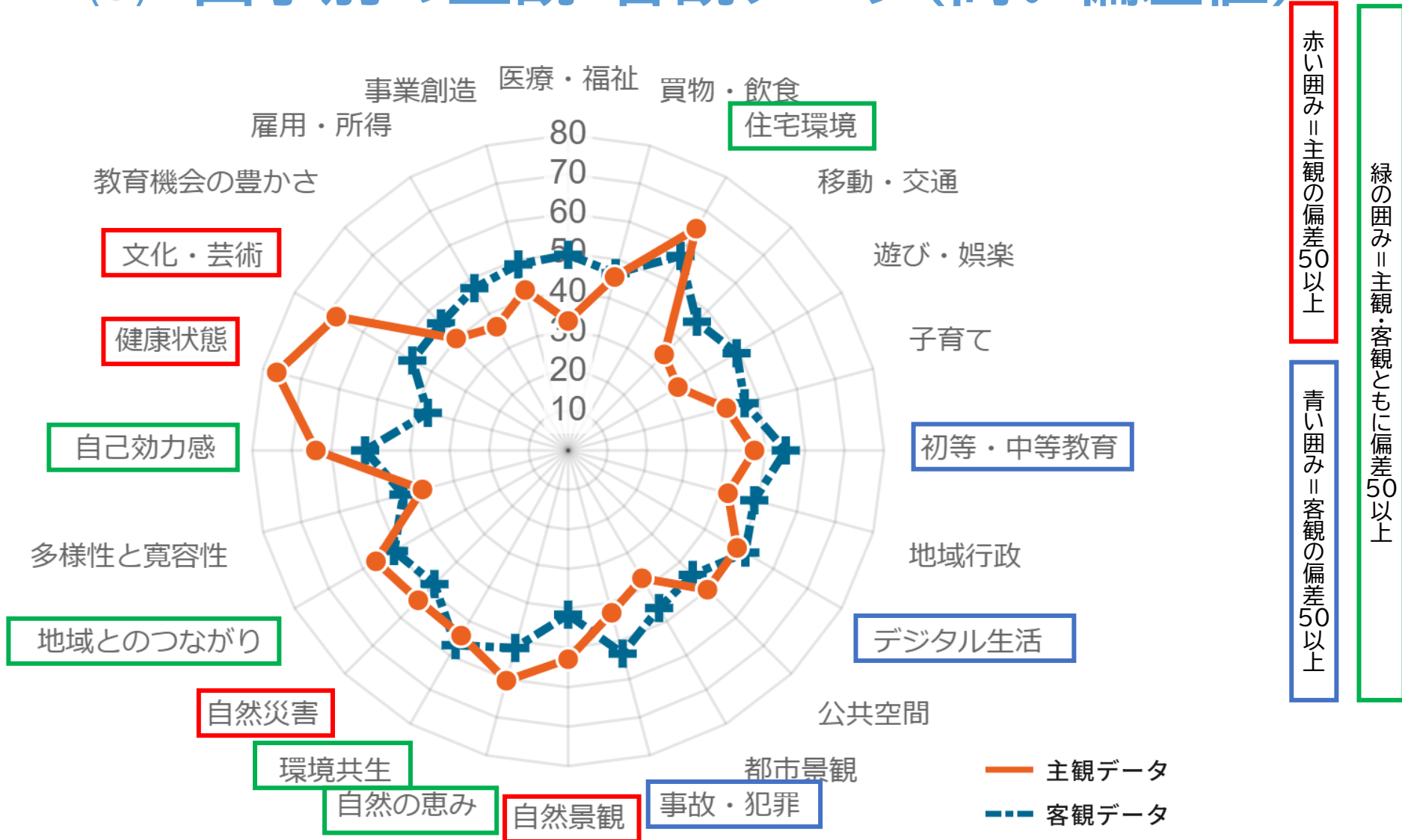
※H30年度は幸福度・満足度ともに5段階の回答であり、R6年度は11段階の回答であるため、調整係数を算出したうえで加重平均値を求めた。

※H30年度の満足度は、「あなたはいわき市が住みよいまちだと思いますか。」という設問を用いているため、満足度として厳密な比較は行えないことから、参考値。

(3) 因子別の主観・客観データ(偏差値)



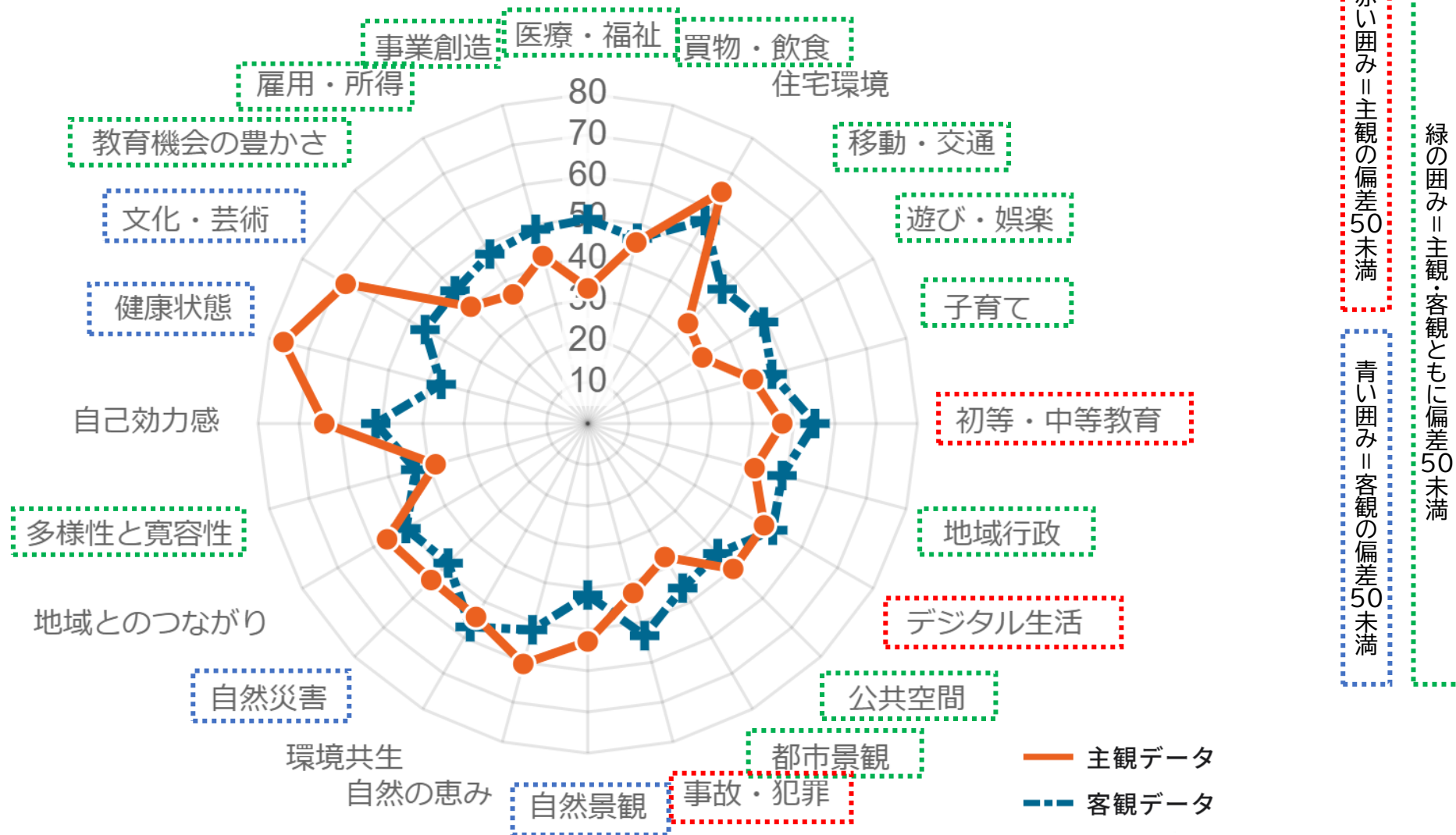
(3) 因子別の主観・客観データ(高い偏差値)



カテゴリ 評価指標	偏差値	
	主観	客観
医療・福祉	32.8	49.6
買物・飲食	45.5	46.5
住宅環境	64.9	56.9
移動・交通	34.4	46.1
遊び・娯楽	32.1	49.3
子育て	41.5	46.3
初等・中等教育	47.2	55.1
地域行政	41.9	48.8
デジタル生活	49.4	51.8
公共空間	49.9	44.6
都市景観	37.4	46.1
事故・犯罪	42.6	53.3
自然景観	52.9	41.6
自然の恵み	60.4	51.8
環境共生	54.2	57.0
自然災害	53.7	47.9
地域とのつながり	56.2	50.9
多様性と寛容性	38.2	43.2
自己効力感	63.9	51.4
健康状態	76.4	36.8
文化・芸術	67.8	45.6
教育機会の豊かさ	40.1	45.5
雇用・所得	36.2	47.5
事業創造	42.1	48.8

※主観データ、客観データともに、デジタル庁が算出した偏差値。

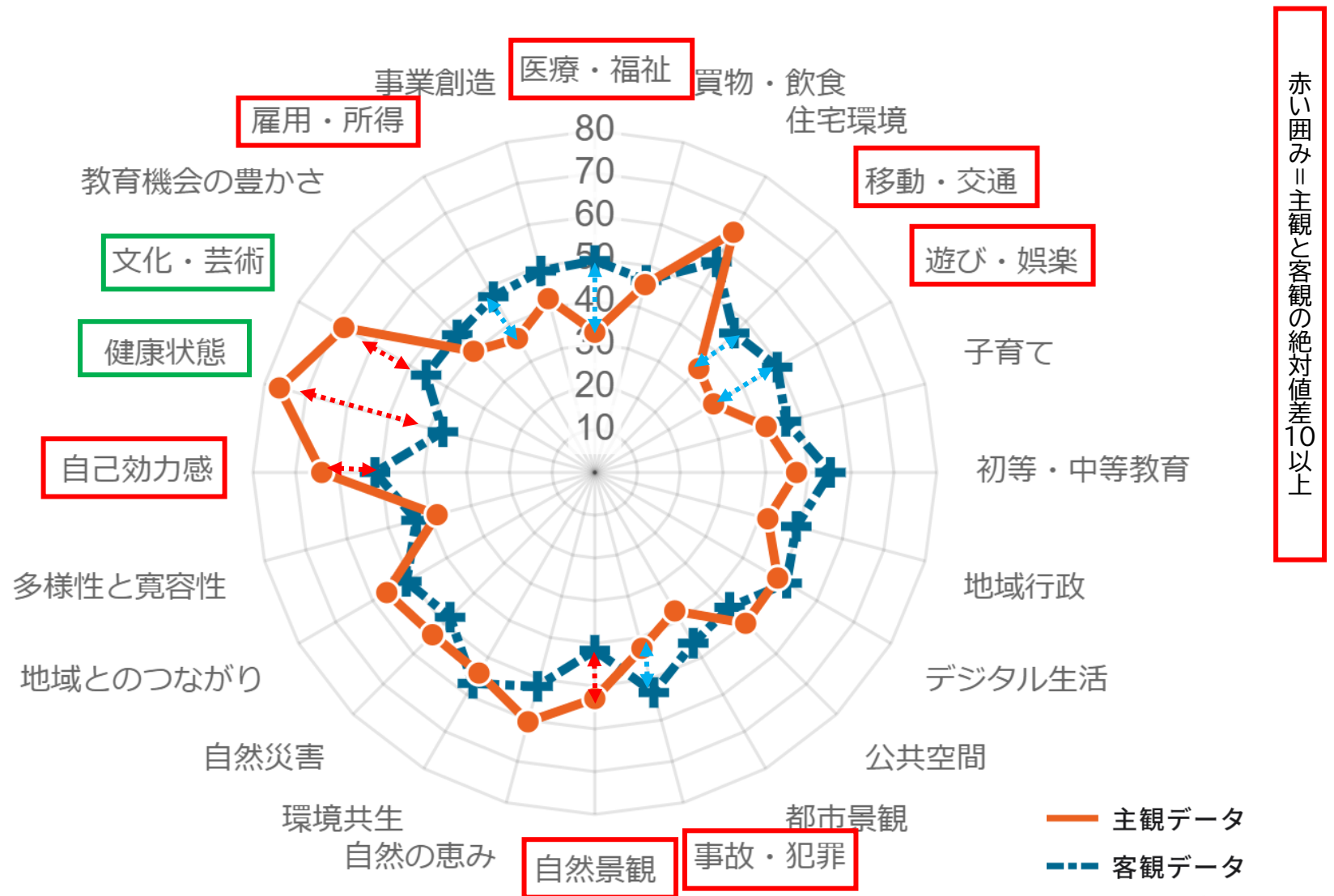
(3) 因子別の主観・客観データ(低い偏差値)



カテゴリ 評価指標	偏差値	
	主観	客観
医療・福祉	32.8	49.6
買物・飲食	45.5	46.5
住宅環境	64.9	56.9
移動・交通	34.4	46.1
遊び・娯楽	32.1	49.3
子育て	41.5	46.3
初等・中等教育	47.2	55.1
地域行政	41.9	48.8
デジタル生活	49.4	51.8
公共空間	49.9	44.6
都市景観	37.4	46.1
事故・犯罪	42.6	53.3
自然景観	52.9	41.6
自然の恵み	60.4	51.8
環境共生	54.2	57.0
自然災害	53.7	47.9
地域とのつながり	56.2	50.9
多様性と寛容性	38.2	43.2
自己効力感	63.9	51.4
健康状態	76.4	36.8
文化・芸術	67.8	45.6
教育機会の豊かさ	40.1	45.5
雇用・所得	36.2	47.5
事業創造	42.1	48.8

※主観データ、客観データともに、デジタル庁が算出した偏差値。

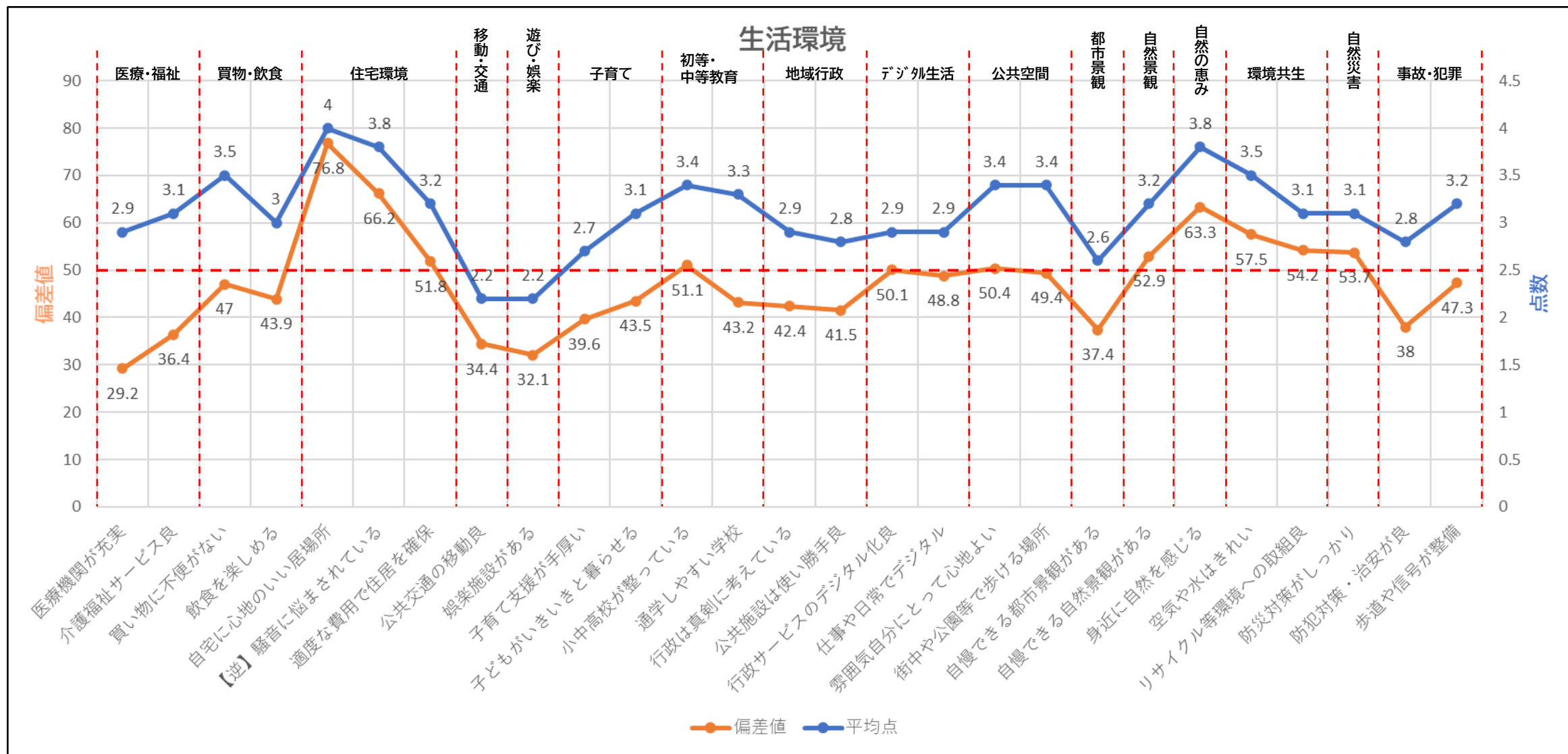
(3) 因子別の主観・客観データ(差)



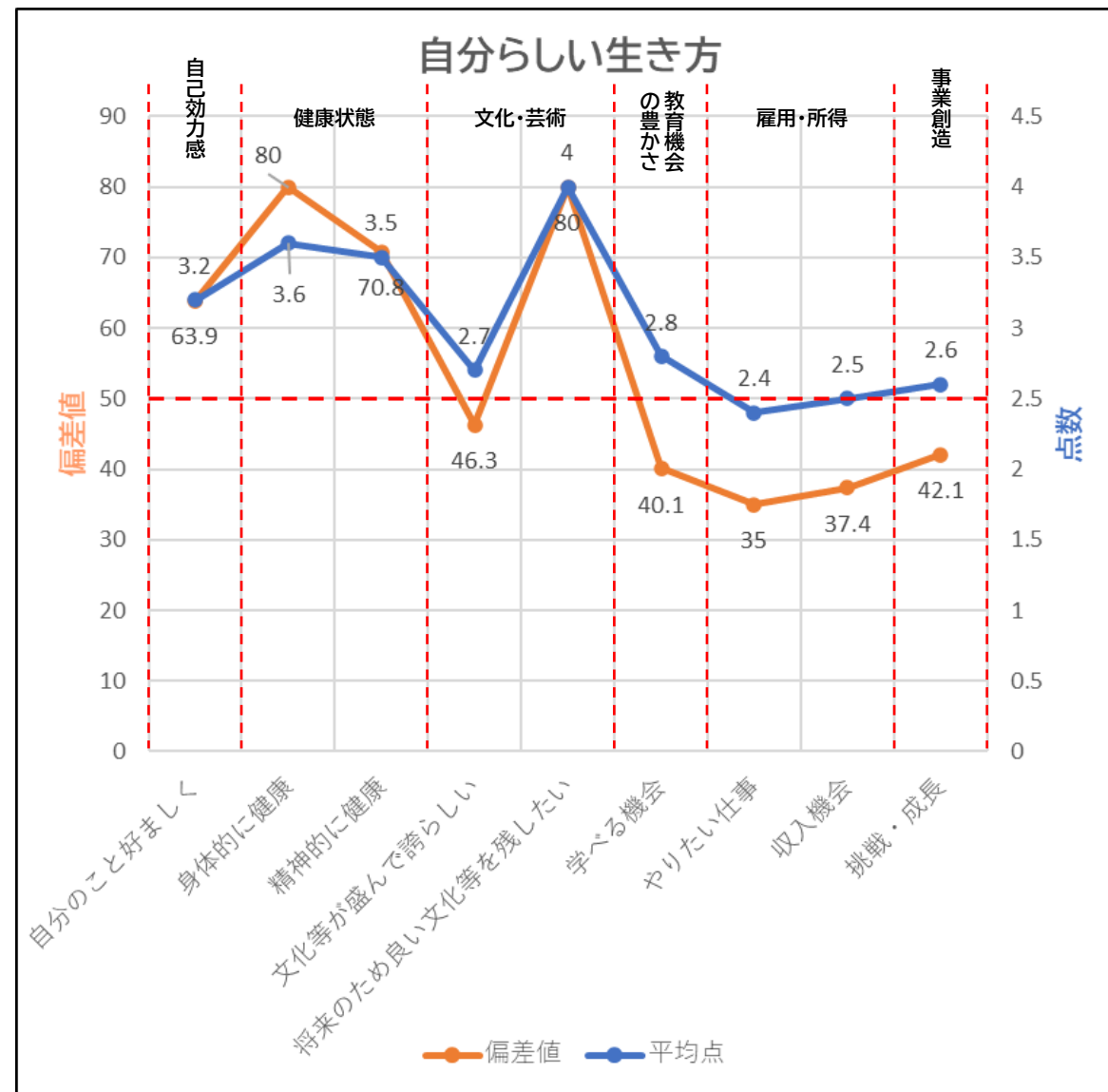
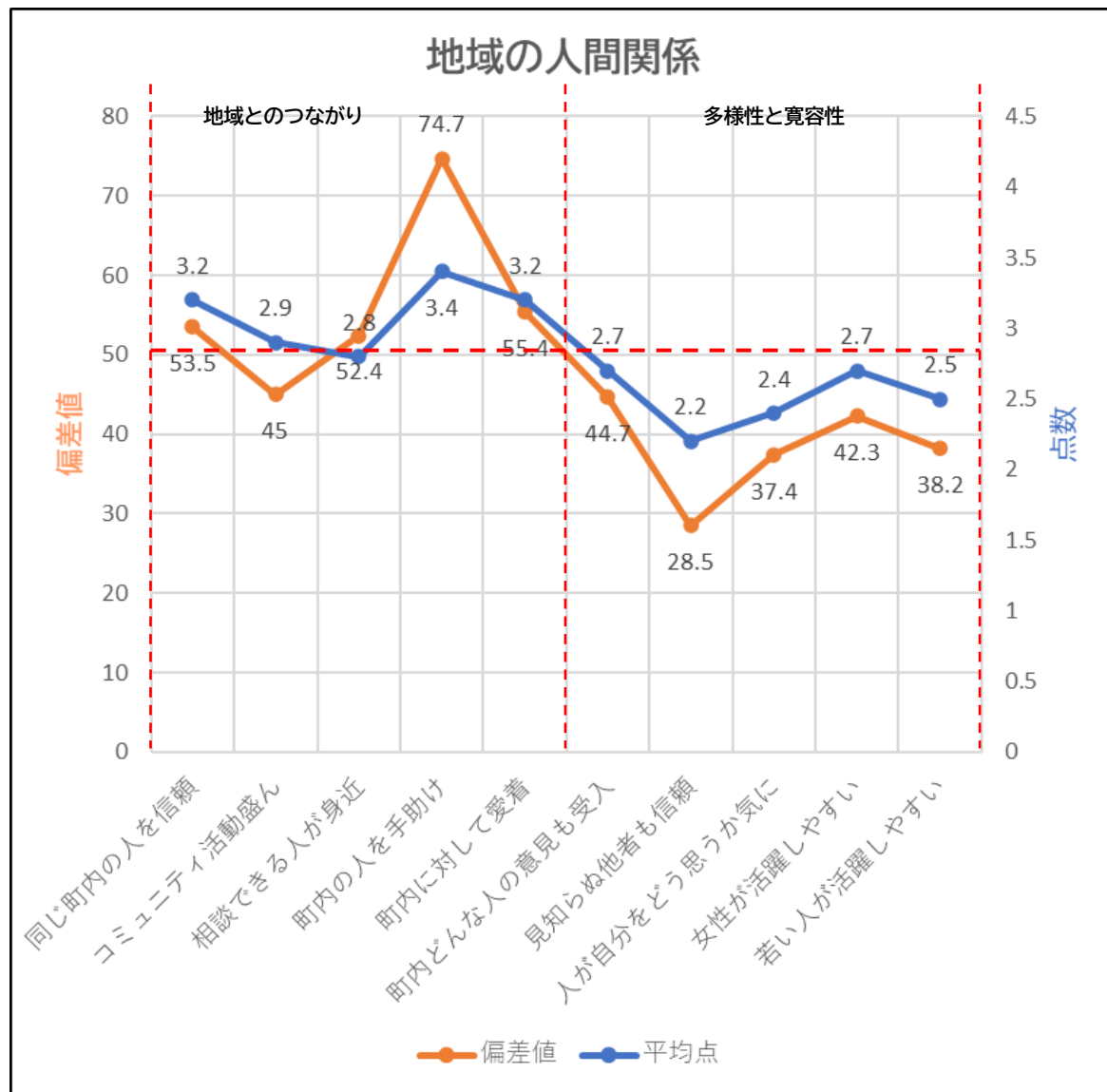
※主観データ、客観データともに、デジタル庁が算出した偏差値。

カテゴリ 評価指標	偏差値		
	主観	客観	差 (絶対値)
医療・福祉	32.8	49.6	16.8
買物・飲食	45.5	46.5	1.0
住宅環境	64.9	56.9	8.0
移動・交通	34.4	46.1	11.7
遊び・娯楽	32.1	49.3	17.2
子育て	41.5	46.3	4.8
初等・中等教育	47.2	55.1	7.9
地域行政	41.9	48.8	6.9
デジタル生活	49.4	51.8	2.4
公共空間	49.9	44.6	5.3
都市景観	37.4	46.1	8.7
事故・犯罪	42.6	53.3	10.7
自然景観	52.9	41.6	11.3
自然の恵み	60.4	51.8	8.6
環境共生	54.2	57.0	2.8
自然災害	53.7	47.9	5.8
地域とのつながり	56.2	50.9	5.3
多様性と寛容性	38.2	43.2	5.0
自己効力感	63.9	51.4	12.5
健康状態	76.4	36.8	39.6
文化・芸術	67.8	45.6	22.2
教育機会の豊かさ	40.1	45.5	5.4
雇用・所得	36.2	47.5	11.3
事業創造	42.1	48.8	6.7

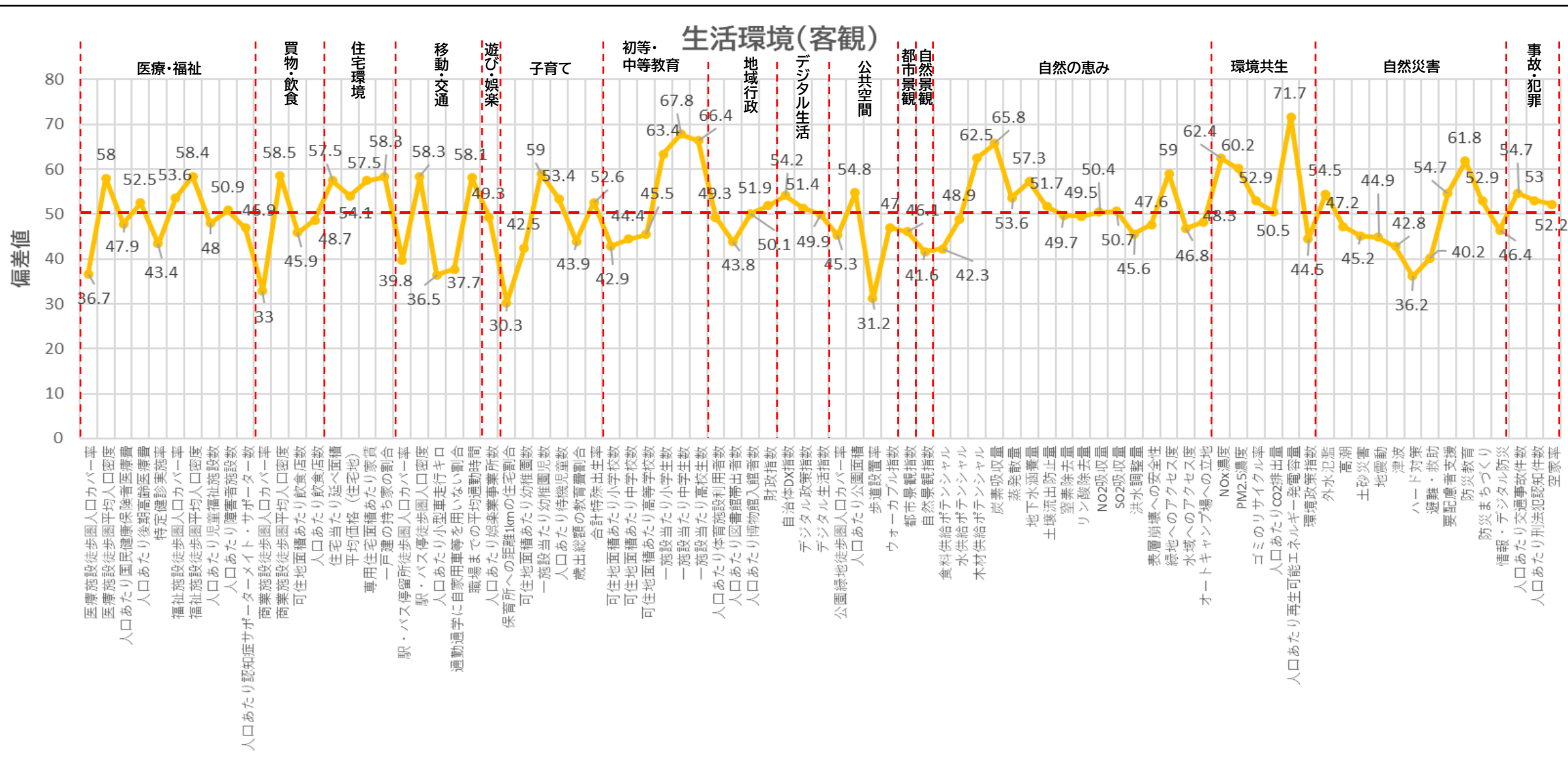
(4) 主観データ(点数と偏差値) ①生活環境



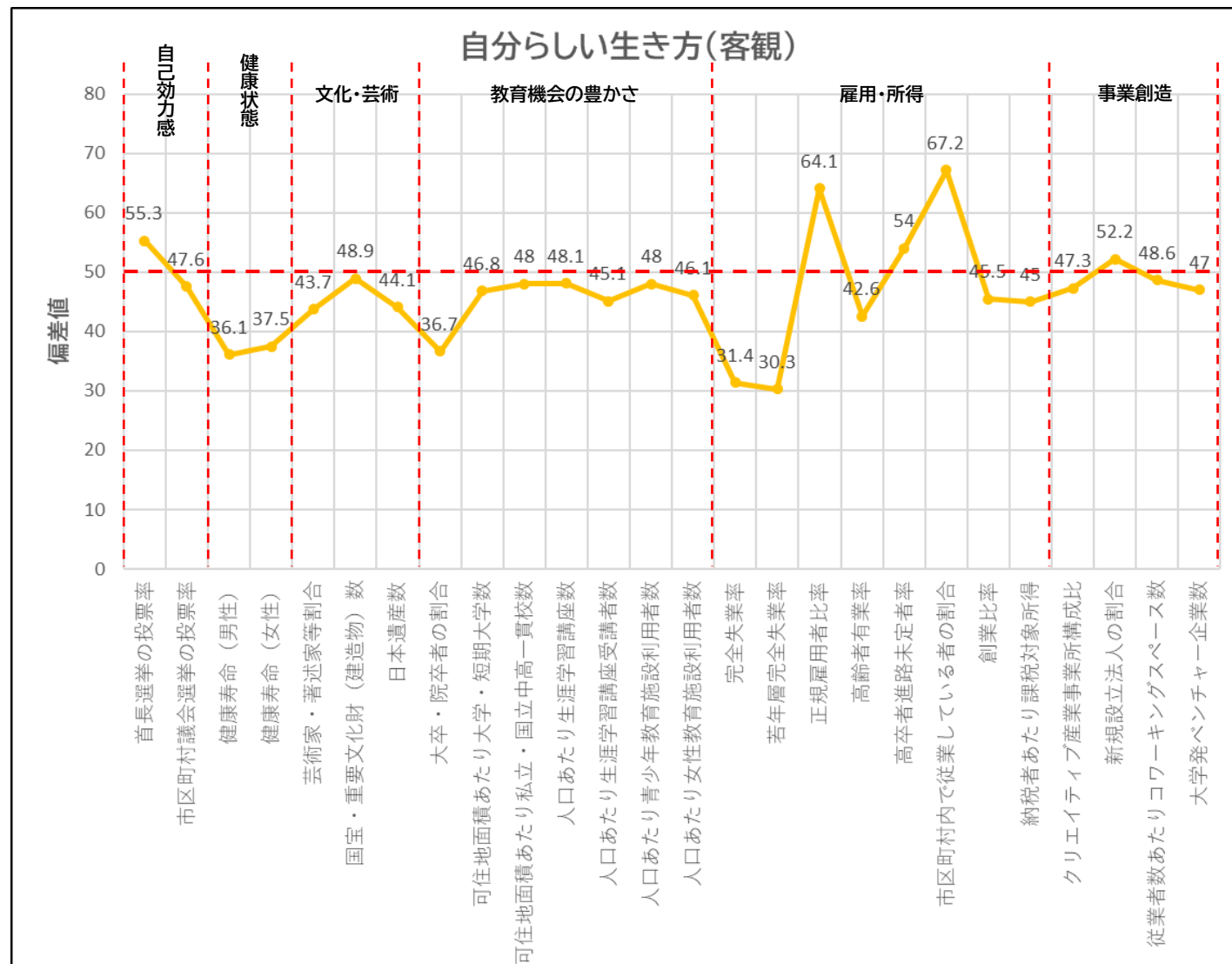
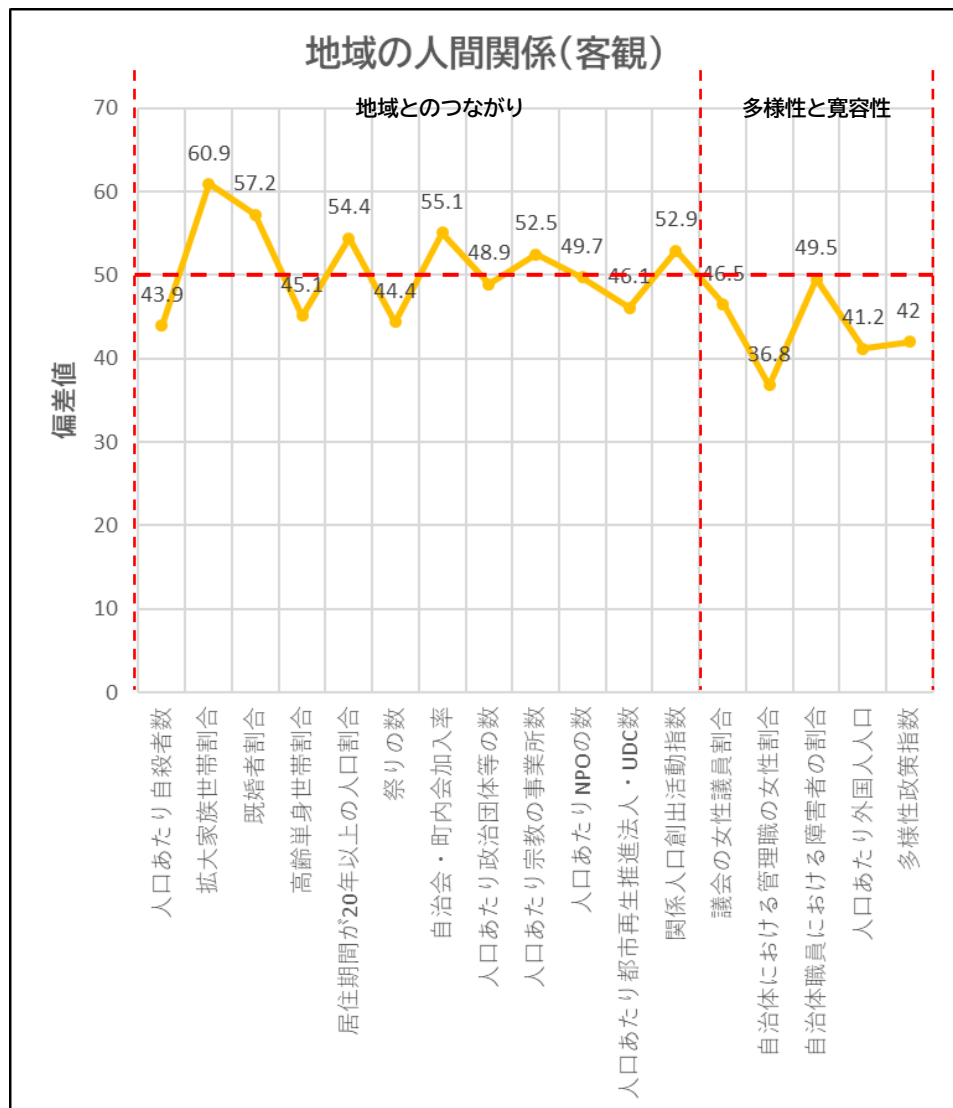
(4) 主観データ(点数と偏差値) ②地域・自分



(5) 客観データ(点数と偏差値) ①生活環境



(5) 客観データ(点数と偏差値) ②地域・自分



(6) 調査結果の活用について

- ・本市では、この調査結果をもとに、さらなる分析を進めて参ります。
- ・また、令和7年度以降、これらのデータ、調査結果を活用しながら、ワークショップなどを開催し、さらなる市民意見聴取や検討を重ね、本市が目指すべき姿、重点的に取り組むべき因子・分野・領域・施策等を立案、整理に努める予定です。

(参考)デジタル庁 Well-Being指標ダッシュボード

本調査結果は、デジタル庁のダッシュボードに掲載されています。ご確認ください。

URL <https://well-being.digital.go.jp/dashboard/>

